

# いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」  
に基づく統計量推計結果  
(平成25年1月～3月)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成25年8月

岩手県 商工労働観光部 観光課

# 目 次

## 第1部:「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	2
(5) 集計対象(範囲)	2
(6) 用語の定義	3
(7) その他	4
2. 調査結果	5
(1) 調査対象地点数	5
(2) 観光地点等入込客数(延べ人数)	5
(3) 観光入込客数(実人数)	11
(4) 観光消費額	14

## 第2部:観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

1. 調査概要	18
2. 観光客の動向分析	19
(1) 問1 住まいの地域	19
(2) 問2 性別・年代	20
(3) 問3 宿泊形態および宿泊数	21
(4) 問4 訪問の目的	23
(5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ	23
(6) 問6 観光地訪問の認知、回数	24
(7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)	24
(8) 問8 観光地への交通機関	25
(9) 問9 今回の旅行費用について	26

## 第1部 「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

### 1. 調査概要

#### (1) 調査対象期間

平成25年1月1日～平成25年3月31日（第4四半期）

#### (2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

#### (3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

##### ①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

##### ②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

##### ③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

#### (4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

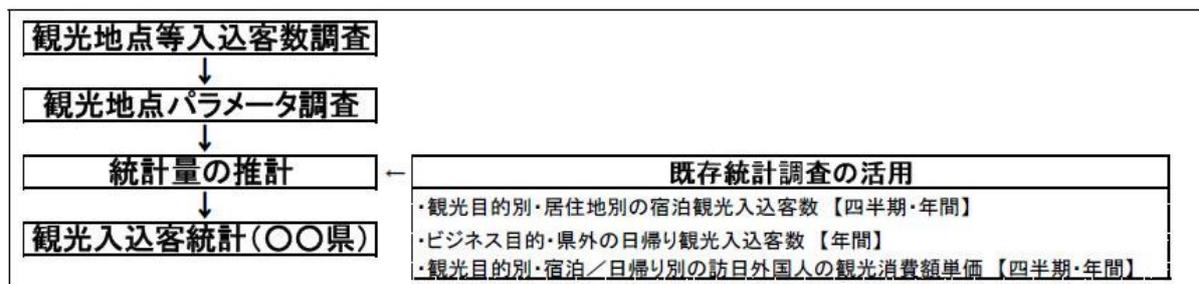


図1 観光入込客統計の調査体系

#### (5) 集計対象(範囲)

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者=日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

## (6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的兼観光	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

## (7) その他

### ①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

### ②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。

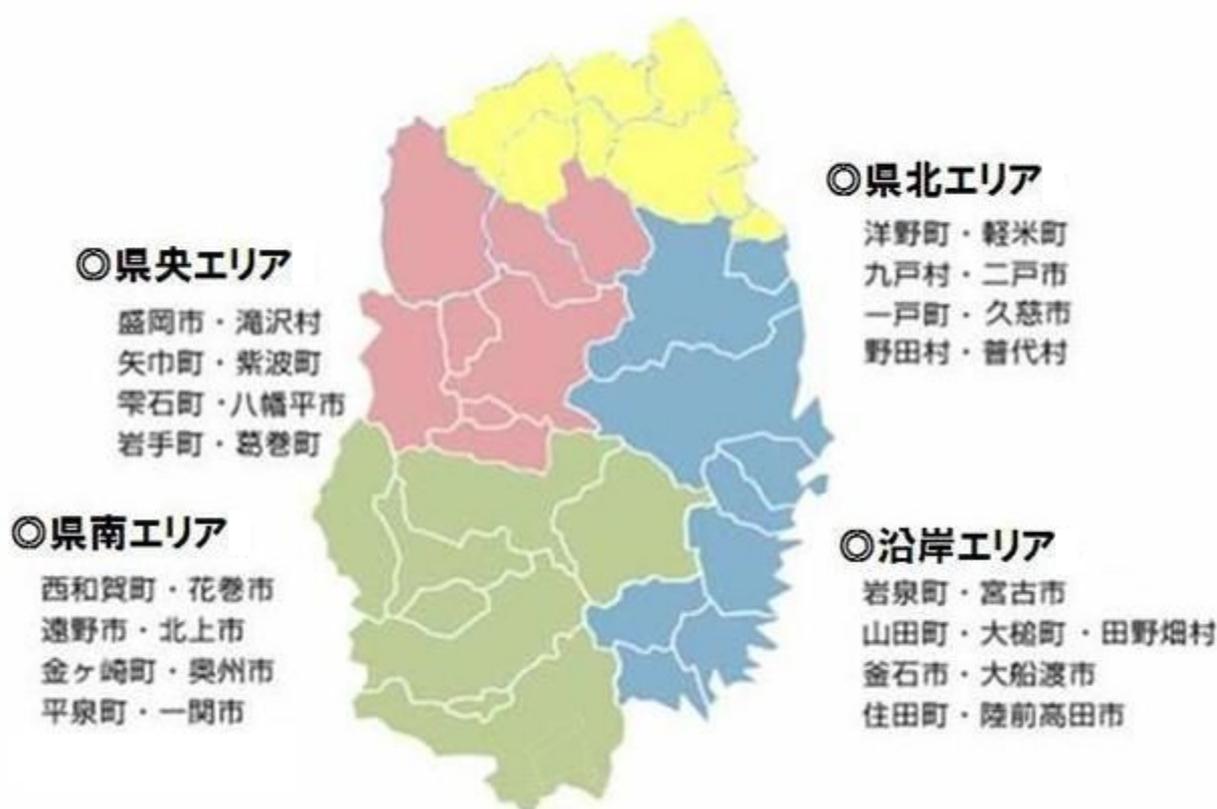


図2 調査エリア

## 2. 調査結果

### (1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表 1 に示すとおり、観光地点総数が 244、行祭事・イベントが 113 である。

表 1 調査対象地点数

総数	観光地点						行祭事 ・イベント
	自然	歴史 ・文化	温泉 ・健康	スポーツ・ レクリエー ション	都市型 観光	その他	
244	29	56	67	54	19	19	113

### (2) 観光地点等入込客数（延べ人数）

#### ① 総数

平成 25 年 1 月～3 月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で 4,941,637 人回となり、平成 23 年度比で 100.3%となった。また、東日本大震災津波発災前の平成 22 年度比では 130.5%となり、東日本大震災津波後の震災復興、いわてデスティネーションキャンペーン等による観光振興の効果が表れている。ただし、平成 23 年度比とほぼ同数であることから、震災復興による観光振興の効果が全県的には一段落したものと考えられる。

#### ② 地域別入込客数

岩手県内の 4 つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表 2 及び図 3 に示すとおりである。入込客数では県央エリアが 2,369,962 人回と最も多く、沿岸エリアが 460,029 人回と最も少ない。しかしながら、平成 23 年度比では県南エリアのみ 88.8%と減少し、それ以外のエリアではいずれも増加している。

また、沿岸エリアでは、平成 23 年度比で 123.6%、平成 22 年度比で 231.7%と、他のエリアに対して大幅に増加しており、東日本大震災津波後の震災復興の効果が持続的に表れていると考えられる。

表 2 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	1 月	2 月	3 月	平成 24 年度 1-3 期合計	平成 23 年度比	平成 23 年度 1-3 期合計	平成 22 年度比	平成 22 年度 1-3 期合計
県央エリア	823,764	1,075,396	470,802	2,369,962	105.8%	2,239,819	134.5%	1,762,010
県南エリア	729,589	392,894	510,121	1,632,604	88.8%	1,839,289	115.7%	1,410,647
沿岸エリア	147,019	128,884	184,126	460,029	123.6%	372,158	231.7%	198,578
県北エリア	174,156	144,370	160,516	479,042	101.0%	474,312	114.9%	416,788
総計	1,874,528	1,741,544	1,325,565	4,941,637	100.3%	4,925,578	130.5%	3,788,023

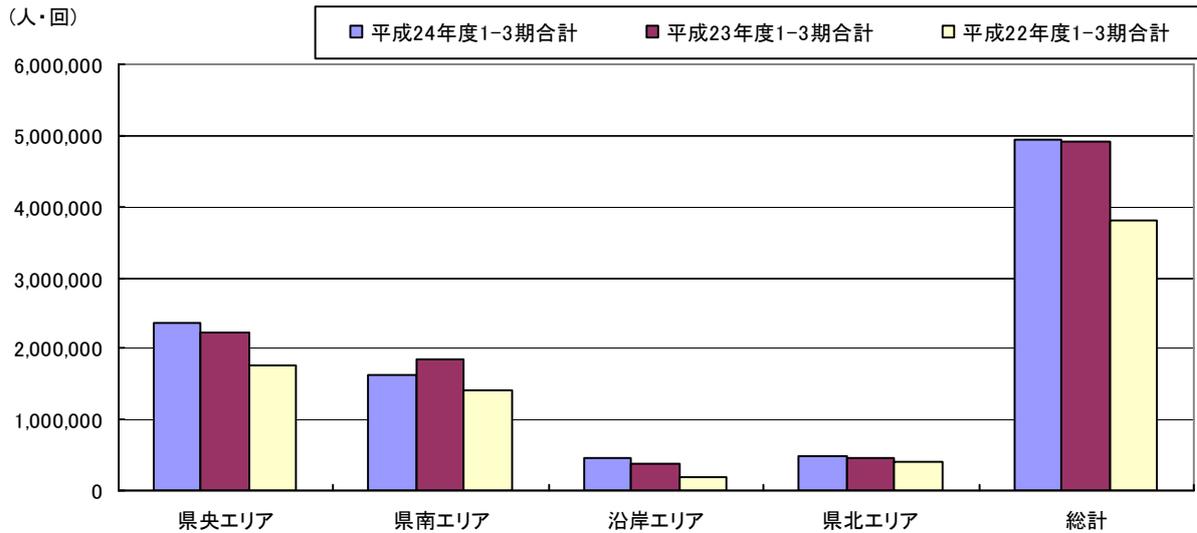


図3 地域別入込客数 (延べ人数から算出)

### ③ 月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数 (延べ人数) は表3及び図4に示すとおりである。

1月が1,874,528人回と最も多くなっており、年度末に向けて減少している。平成23年度比では、1月が94.8%であるものの2月は100%を超え、3月は99.5%とほぼ同数となっている。平成22年度比では、各月で100%を超え、3月は211.8%と倍増しているが、これは東日本大震災津波が発生した平成23年3月との比較となるためである。

表3 月別入込客数 (延べ人数)

単位: 人回

月	平成24年度	平成23年度比	平成23年度	平成22年度比	平成22年度
1月	1,874,528	94.8%	1,977,116	121.7%	1,540,385
2月	1,741,544	107.8%	1,615,969	107.4%	1,621,832
3月	1,325,565	99.5%	1,332,493	211.8%	625,806

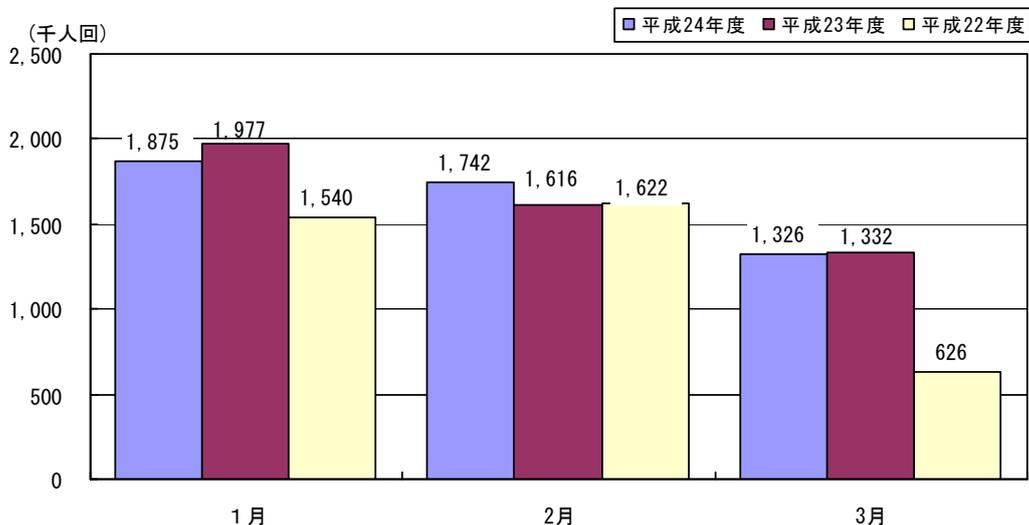


図4 月別入込客数 (延べ人数から算出)

#### ④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表4並びに図5-1、5-2及び6-1、6-2に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは雫石町の814,720人回で、次いで八幡平市の633,041人回、盛岡市の597,080人回となり、冬のイベント等により大幅に入込客数を増やした市町村も見られる。また、平成23年度比では、陸前高田市の357.0%、滝沢村の263.8%、九戸村187.5%等、個別施設の復旧・復興等により大幅に入込客数を回復した市町村も見られる。

震災前の平成22年度との比較では、山田町の1303.7%、大船渡市の856.5%、滝沢村の327.3%等であり、沿岸地域の市町村が上位を占めている。また、9市町村を除き100%を上回っており、震災復興の効果が表れていると考えられる。

表4 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

地域別	1月	2月	3月	平成24年度 1-3期合計	平成23年度比	平成23年度 1-3期合計	平成22年度比	平成22年度 1-3期合計
盛岡市	324,894	186,410	85,776	597,080	100.1%	596,600	236.4%	252,524
宮古市	24,802	36,733	30,486	92,021	114.4%	80,419	157.3%	58,486
大船渡市	38,720	37,400	65,864	141,984	159.7%	88,894	856.5%	16,578
花巻市	101,517	98,723	110,405	310,645	92.4%	336,052	131.5%	236,212
北上市	0	0	0	0	-	0	-	0
久慈市	30,279	26,300	29,978	86,557	111.4%	77,717	138.6%	62,437
遠野市	59,306	63,592	137,833	260,731	86.7%	300,881	99.4%	262,380
一関市	73,137	106,108	112,029	291,274	99.4%	293,148	119.6%	243,477
陸前高田市	10,981	11,193	17,773	39,947	357.0%	11,189	-	0
釜石市	36,760	14,435	23,141	74,336	100.8%	73,781	112.7%	65,939
二戸市	32,608	21,933	27,798	82,339	103.0%	79,907	107.9%	76,317
八幡平市	232,920	224,394	175,727	633,041	107.9%	586,593	122.3%	517,435
奥州市	229,934	49,791	40,670	320,395	92.2%	347,589	101.9%	314,574
雫石町	139,653	565,647	109,420	814,720	108.4%	751,535	112.2%	725,976
葛巻町	12,426	12,220	14,458	39,104	113.0%	34,594	122.4%	31,955
岩手町	9,164	9,260	12,442	30,866	110.4%	27,951	134.7%	22,922
滝沢村	5,643	30,176	20,345	56,164	263.8%	21,293	327.3%	17,160
紫波町	79,184	28,699	32,304	140,187	96.1%	145,902	106.1%	132,138
矢巾町	19,880	18,590	20,330	58,800	78.0%	75,351	95.0%	61,900
西和賀町	28,996	27,640	31,542	88,178	90.1%	97,851	110.6%	79,733
金ヶ崎町	24,625	21,071	25,761	71,457	101.4%	70,459	109.9%	65,002
平泉町	212,074	25,969	51,881	289,924	73.7%	393,309	138.5%	209,269
住田町	3,720	3,513	5,807	13,040	84.9%	15,367	98.9%	13,186
大槌町	0	0	0	0	-	0	-	0
山田町	14,891	14,116	18,811	47,818	83.3%	57,423	1303.7%	3,668
岩泉町	11,395	9,554	17,744	38,693	103.6%	37,335	138.8%	27,871
田野畑村	5,750	1,940	4,500	12,190	157.3%	7,750	94.9%	12,850
普代村	5,058	4,381	4,303	13,742	79.2%	17,347	252.3%	5,446
軽米町	717	750	1,063	2,530	99.9%	2,532	54.1%	4,675
野田村	15,917	13,896	14,217	44,030	96.8%	45,475	101.6%	43,352
九戸村	7,959	9,565	4,739	22,263	187.5%	11,872	213.2%	10,442
洋野町	44,676	38,283	52,486	135,445	104.2%	129,958	121.3%	111,649
一戸町	36,942	29,262	25,932	92,136	84.1%	109,504	89.9%	102,470
総計	1,874,528	1,741,544	1,325,565	4,941,637	100.3%	4,925,578	130.5%	3,788,023

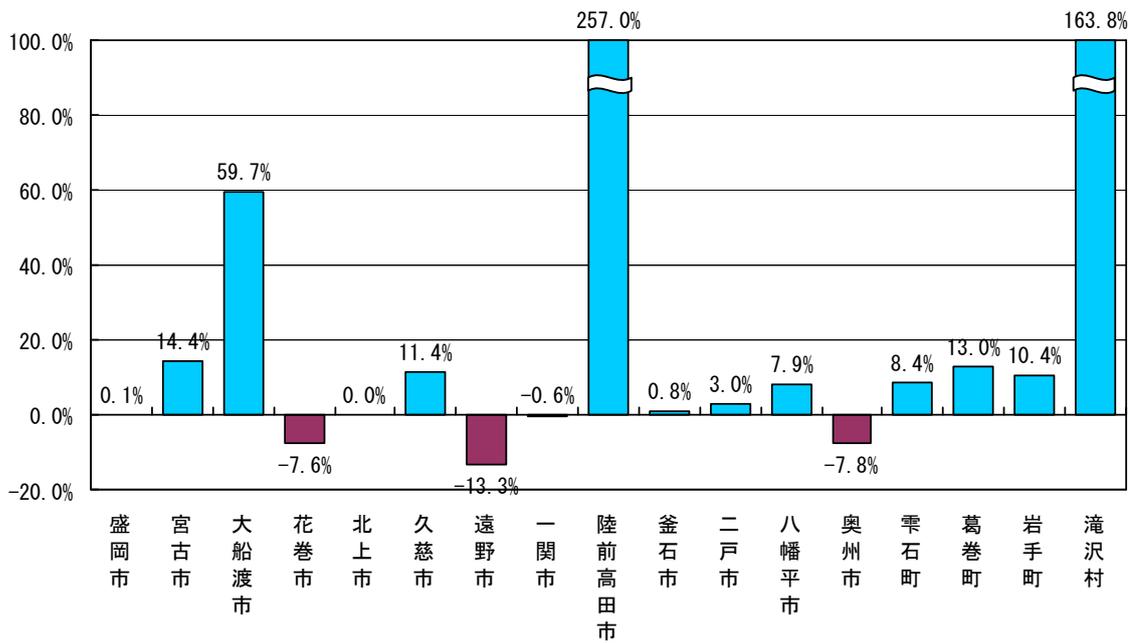


図5-1 市町村別・月別入込客数 平成23年度増減比(1)

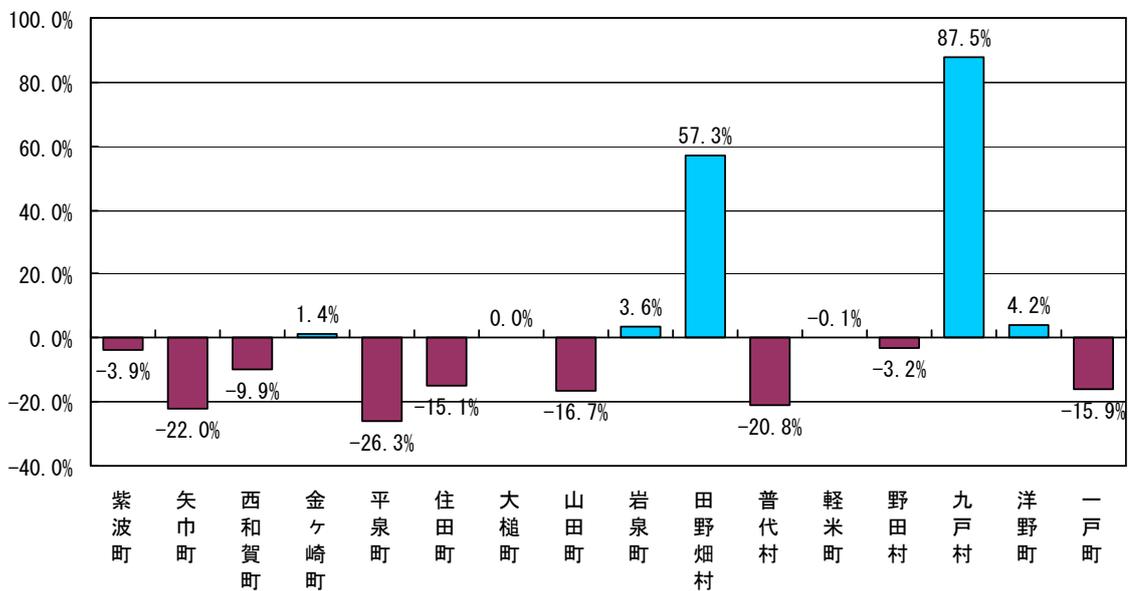


図5-2 市町村別・月別入込客数 平成23年度増減比(2)

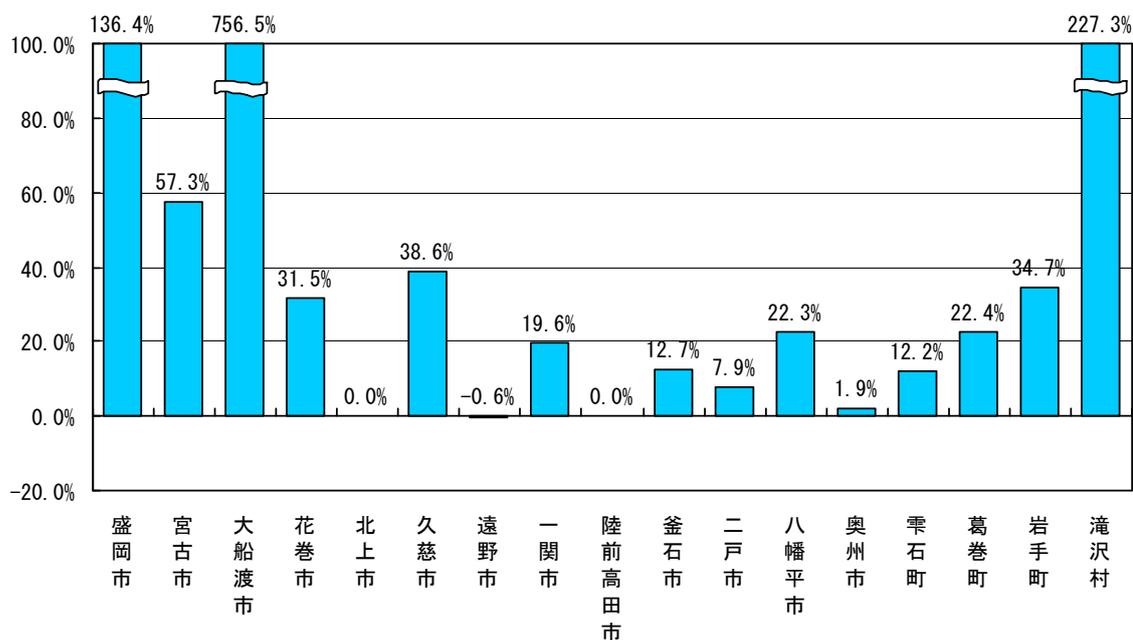


図6-1 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(1)

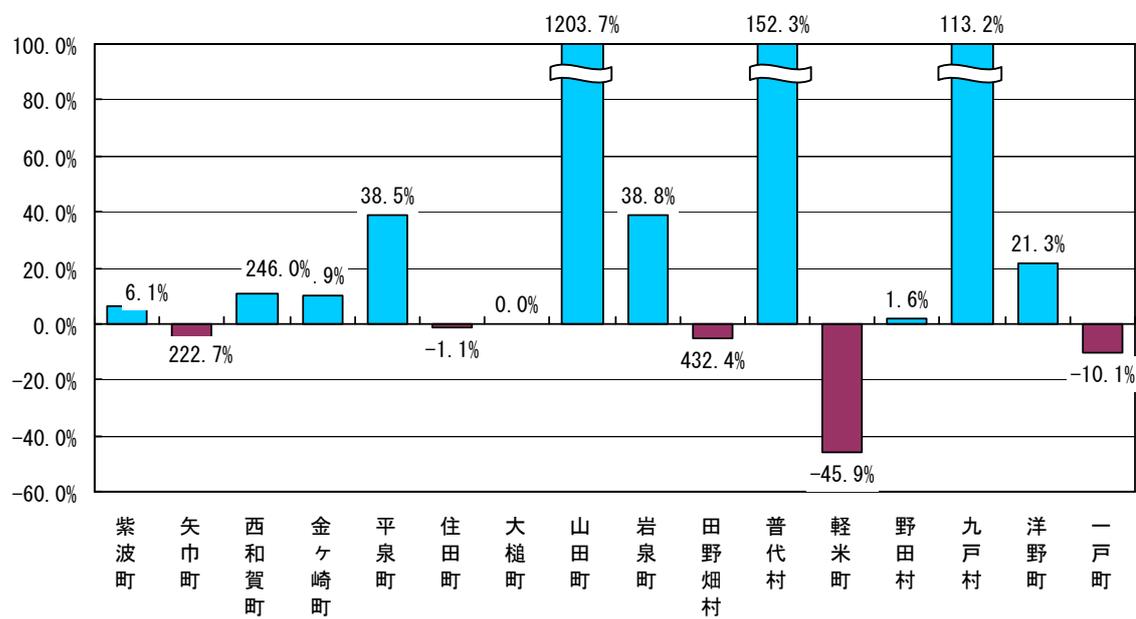


図6-2 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(2)

### ⑤ 地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別の入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表5及び図7に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「温泉・健康」が1,240,798人回と最も多く、次いで「イベント」の884,005人回である。エリア別では、県南エリア、県北エリアで「温泉・健康」の入込割合が多く、県央エリアでは「スポーツ・レクリエーション」、沿岸エリアでは「その他」の入込割合が多くなっている。なお、「その他」は、道の駅等での入込客が主となっている。

表5 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光（買物・食）	その他	行祭事・イベント
県央エリア	255,137	169,983	498,985	689,341	26,961	128,620	600,935
県南エリア	140,307	380,842	502,184	68,715	262,628	20,670	257,258
沿岸エリア	57,448	37,183	89,648	8,231	109,795	137,724	20,000
県北エリア	73,343	15,214	149,981	69,887	106,270	58,535	5,812
総計	526,235	603,222	1,240,798	836,174	505,654	345,549	884,005

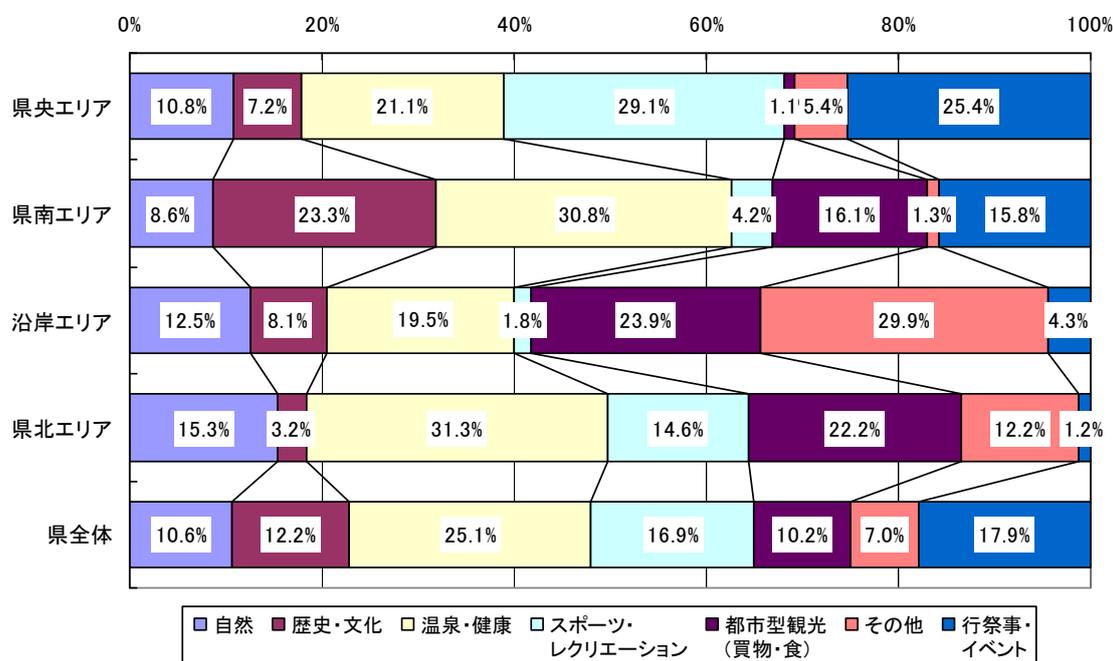


図7 地域別・分野別入込割合（延べ人数から算出）

### (3) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表 6-1、6-2、表 7 及び図 8-1、8-2 に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても 1 人・回と数える。

本県を訪れた観光目的の入込客数は、平成 23 年度比 108.8%、平成 22 年度比 85.5%であった。宿泊及び日帰り別では、日帰り客は平成 23 年度を上回るものの（平成 23 年度比 117.9%）、平成 22 年度比で 87.9%である。また、宿泊客は平成 22 年度比で 79.2%と未だ 8 割程度の水準にとどまり、平成 23 年度比でも 88.3%と落ち込みを見せている。要因として、震災後の観光客の立ち寄り地点の増加により、入込客数の実人数が伸び悩んでいると考えられる。

なお、ビジネス兼観光目的の入込客数は、平成 23 年度比 112.7%、平成 22 年度比 203.4%となり、平成 23 年度よりやや増加している。東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したことが考えられるが、日帰り県外客の割合が大幅に増加しており、震災復興による遠方からのビジネス客の影響も今後も継続すると考えられる。

表 6-1 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			1-3 期合計
	宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的入込客数	587	284	303	1,762	288	1,474	2,349
平成 23 年度比	88.3%	69.4%	118.4%	117.9%	132.7%	115.4%	108.8%
平成 23 年度 1-3 期合計	665	409	256	1,494	217	1,277	2,159
平成 22 年度比	79.2%	88.5%	72.1%	87.9%	67.8%	93.3%	85.5%
平成 22 年度 1-3 期合計	741	321	420	2,005	425	1,580	2,746
ビジネス兼観光目的入込客数	373	222	151	231	192	39	604
平成 23 年度比	77.9%	69.6%	94.4%	405.3%	3200.0%	76.5%	112.7%
平成 23 年度 1-3 期合計	479	319	160	57	6	51	536
平成 22 年度比	140.8%	145.1%	134.8%	721.9%	-	121.9%	203.4%
平成 22 年度 1-3 期合計	265	153	112	32	-	32	297

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

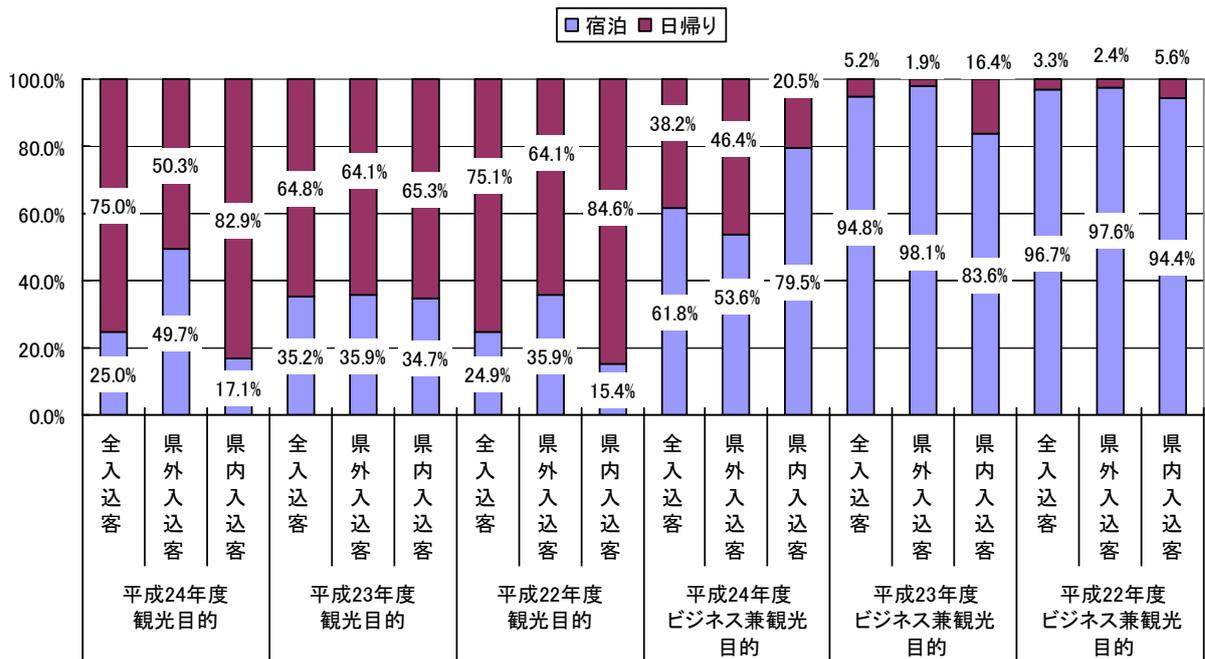


図 8-1 年度別・目的別の宿泊・日帰り割合

表 6-2 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			1-3 期合計
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	
観光目的の入込客数	572	284	288	1,777	303	1,474	2,349
平成 23 年度比	91.4%	69.4%	132.7%	115.9%	118.4%	115.4%	108.8%
平成 23 年度 1-3 期合計	626	409	217	1,533	256	1,277	2,159
平成 22 年度比	76.7%	88.5%	67.8%	88.9%	72.1%	93.3%	85.5%
平成 22 年度 1-3 期合計	746	321	425	2,000	420	1,580	2,746
ビジネス兼観光目的の入込客数	414	222	192	190	151	39	604
平成 23 年度比	127.4%	69.6%	3200.0%	90.0%	94.4%	76.5%	112.7%
平成 23 年度 1-3 期合計	325	319	6	211	160	51	536
平成 22 年度比	270.6%	145.1%	-	131.9%	134.8%	121.9%	203.4%
平成 22 年度 1-3 期合計	153	153	-	144	112	32	297

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

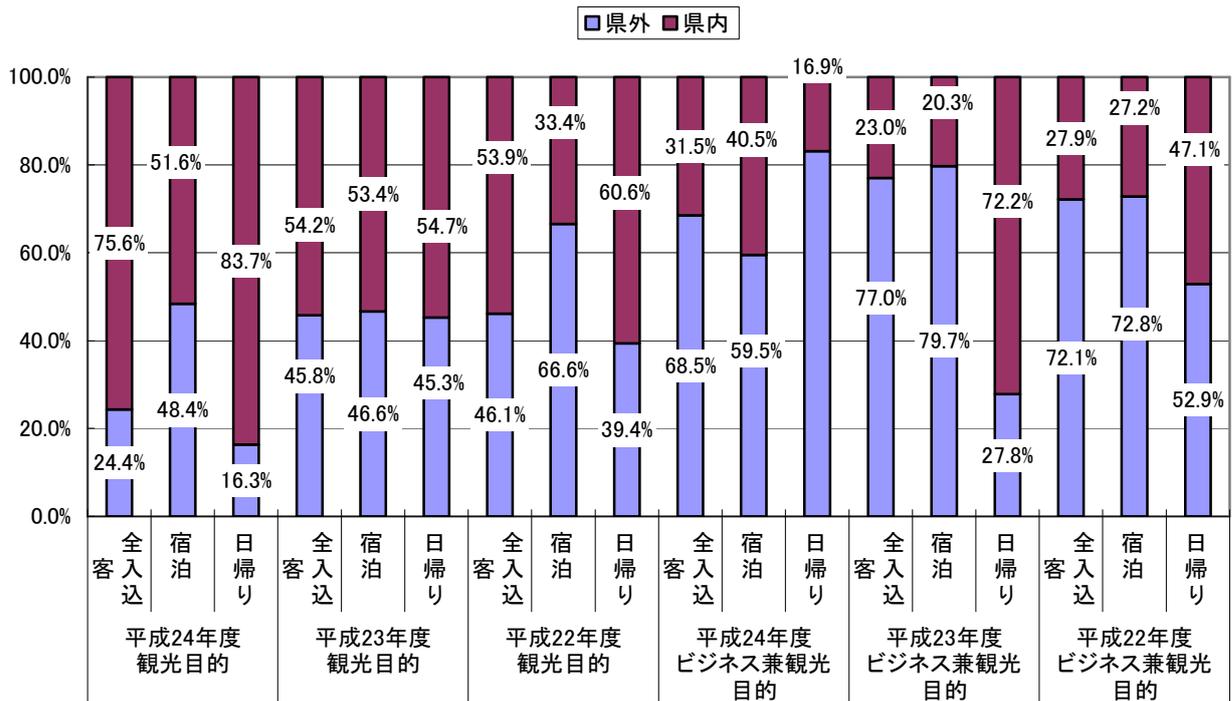


図 8-2 年度別・県内・県外別の宿泊・日帰り割合

また、本県を訪れた訪日外国人入込客数は、平成 23 年度比 142.9%、平成 22 年度比 83.3%であった。要因としては、東日本大震災津波の風評被害等が改善に向かい、外国人観光客が戻りつつあること、平泉が世界文化遺産に登録されたことなどが考えられる。

表 7 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			10-12 期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
訪日外国人入込客数	10	7	3	0	-	-	10
平成 23 年度比	142.9%	116.7%	300.0%	-	-	-	142.9%
平成 23 年度 1-3 期合計	7	6	1	0	-	-	7
平成 22 年度比	83.3%	70.0%	150.0%	-	-	-	83.3%
平成 22 年度 1-3 期合計	12	10	2	0	-	-	12

#### (4) 観光消費額

##### ① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表 8、表 9 及び図 9 に示すとおりである。

なお、単位の「円/人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的の宿泊客の観光消費額単価は、県内客では、平成 23 年度比 92.2%、平成 22 年度比 83.5%、県外客では、平成 23 年度比 149.4%、平成 22 年度比 137.7%である。県外客は平成 22 年度、平成 23 年度を超えているものの、県内客は減少しており、県内客の観光消費額単価が震災前まで改善していない。

また、日帰り客の観光消費額単価は、県内客では、平成 23 年度比 102.4%、平成 22 年度比 73.3%、県外客では、平成 23 年度比 105.4%、平成 22 年度比 116.6%である。県内客の平成 22 年度比以外は 100%を超えており、県外客の消費額単価は改善傾向にあるものの、県内客の日帰り観光消費額単価の震災前まで改善されていない。

なお、ビジネス兼観光目的の観光消費額単価は、サンプル数が少なく 1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっているが、平成 23 年度、平成 22 年度の比較では、平成 23 年度比のビジネス兼観光目的 観光消費額単価が大幅に減少している。これは、ビジネス兼観光目的 観光消費額単価のパラメータ値が従来のパラメータ調査結果から得られた金額ではなく、観光庁から提供されたパラメータ値で算出したことも要因として挙げられる。

表 8 日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価

単位：円/人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	県外	県内	県外	県内
観光目的 観光消費額単価	32,619	11,133	7,351	2,814
平成 23 年度比	149.4%	92.2%	105.4%	102.4%
平成 23 年度 1-3 期観光消費額単価	21,827	12,077	6,974	2,748
平成 22 年度比	137.7%	83.5%	116.6%	73.3%
平成 22 年度 1-3 期観光消費額単価	23,697	13,331	6,302	3,839
ビジネス兼観光目的 観光消費額単価	32,805	19,196	4,846	2,886
平成 23 年度比	22.7%	270.4%	161.5%	164.8%
平成 23 年度 1-3 期観光消費額単価	144,347	7,100	3,000	1,751
平成 22 年度比	132.5%	-	-	96.9%
平成 22 年度 1-3 期観光消費額単価	24,762	-	-	2,977

(注) 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

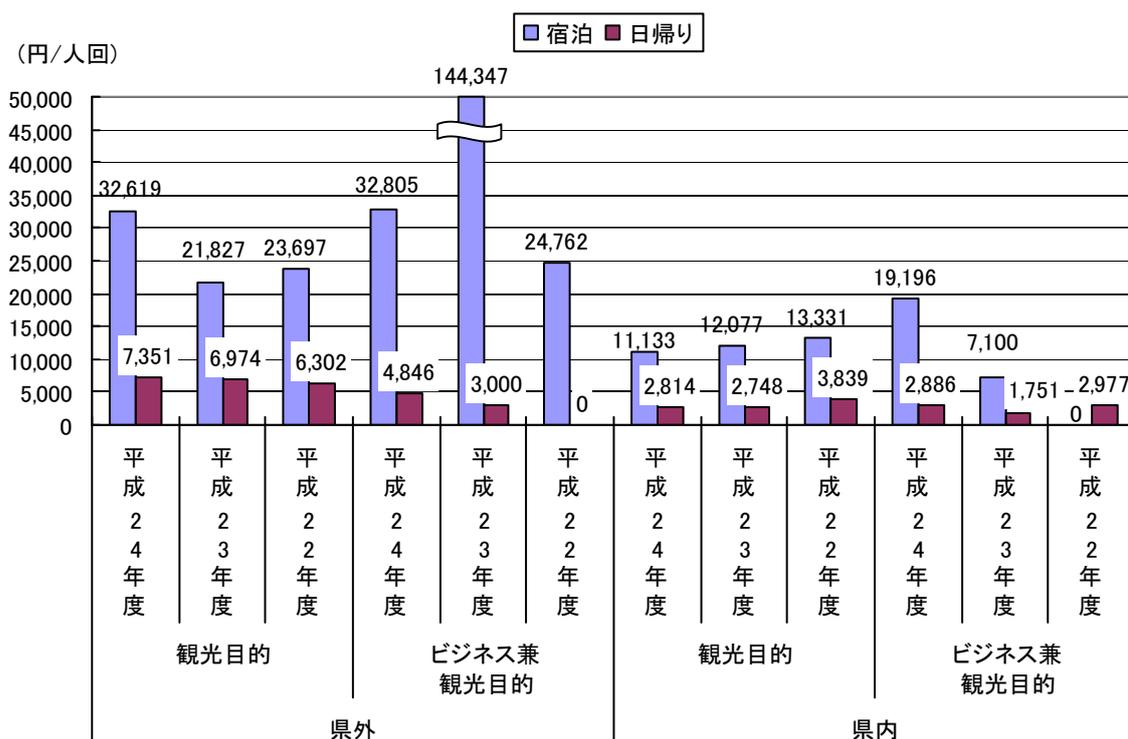


図9 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額単価

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表9に示すとおりである。  
 観光消費額単価は、パラメータ調査での値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表9 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
訪日外国人 観光消費額単価	16,277	73,612	10,556	8,678
平成23年度比	63.1%	114.0%	125.9%	108.6%
平成23年度1-3期 消費額単価	25,800	64,595	8,387	7,990
平成22年度比	36.9%	59.9%	130.2%	107.0%
平成22年度1-3期 消費額単価	44,060	122,981	8,109	8,109

## ② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 10 及び図 10 に示すとおりである。

観光目的の観光消費額の総額は、平成 23 年度比 111.0%、平成 22 年度比 86.1%である。

日帰り・宿泊別の平成 23 年度比では、宿泊・日帰りともに県内・県外で 100%を超え、観光消費額が改善傾向にある。これは、平成 22 年度よりも入込客数は減少したものの、観光消費額単価が増加しており、観光消費額も対平成 23 年度・平成 22 年度を上回ったものと考えられる。

一方、ビジネス兼観光目的の観光消費額の総額は、平成 23 年度比で 24.3%、平成 22 年度比で 288.4%となっている。平成 23 年度からの落ち込みの要因としては、東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ね一段落したことが考えられるが、ビジネス兼観光目的 観光消費額単価が平成 23 年度から大幅に減少したことも要因と考えられる。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊 総数	県外	県内	日帰り 総数	県外	県内	
観光目的 観光消費額	12,645	9,273	3,372	6,263	2,115	4,148	18,908
平成 23 年度比	105.3%	103.9%	109.2%	124.7%	139.6%	118.2%	111.0%
平成 23 年度 1-3 期 観光消費額	12,014	8,927	3,087	5,023	1,515	3,508	17,037
平成 22 年度比	95.7%	121.8%	60.2%	71.6%	78.9%	68.4%	86.1%
平成 22 年度 1-3 期 観光消費額	13,215	7,612	5,603	8,746	2,681	6,065	21,961
ビジネス兼 観光目的観光消費額	10,188	7,281	2,907	1,046	932	114	11,234
平成 23 年度比	22.1%	15.8%	256.1%	986.8%	5482.4%	128.1%	24.3%
平成 23 年度 1-3 期 観光消費額	46,037	46,037	1,135	106	17	89	46,143
平成 22 年度比	-	191.6%	-	-	-	120.0%	288.4%
平成 22 年度 1-3 期 観光消費額	-	3,800	-	-	-	95	3,895

(注) 観光消費額には訪日外国人を含まない。

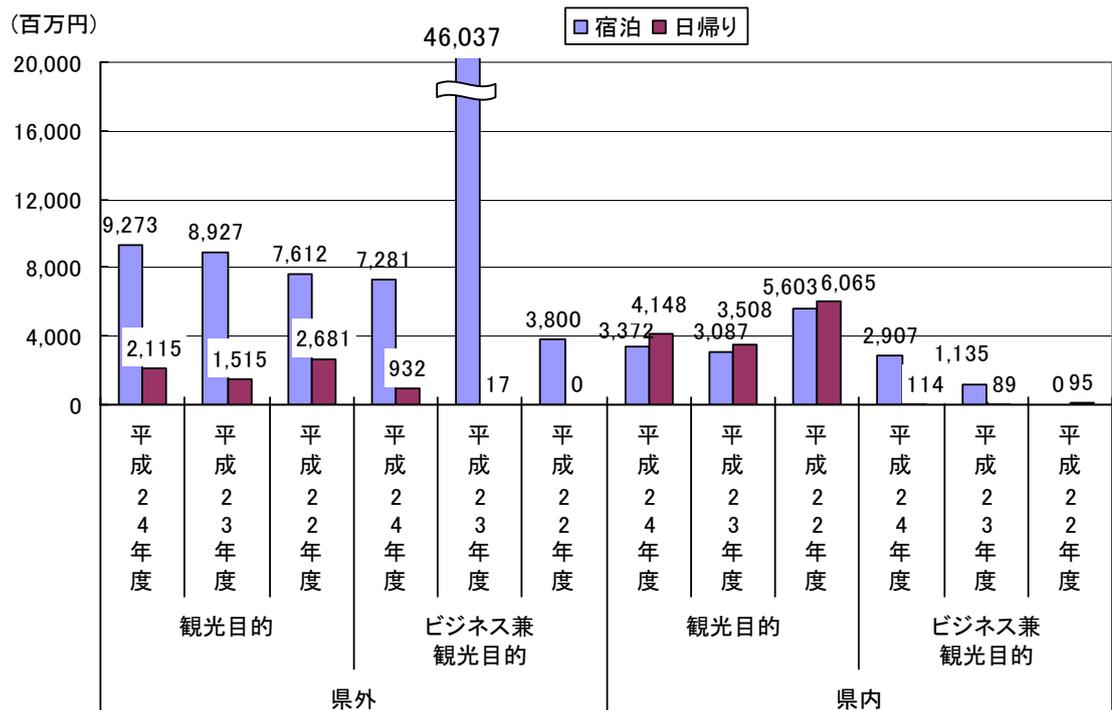


図 10 日帰り宿泊別・県内県外観光消費額

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 11 に示すとおりである。

訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 23 年度比 145.5%、平成 22 年度比 46.5%である。また、宿泊の観光目的では、平成 23 年度比 69.5%、平成 22 年度比 24.9%である。全体では震災直後の平成 23 年度から改善傾向にあるものの、宿泊の観光目的では未だに改善されていないことがうかがえる。

一方、この観光消費額は、表 9 で示した観光消費額単価に、表 7 に示した入込客数を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総額	観光	ビジネス	日帰り総額	観光	ビジネス	
訪日外国人観光消費額	307	114	193	-	-	-	307
平成 23 年度比	145.5%	69.5%	410.6%	-	-	-	145.5%
平成 23 年度 10-12 期観光消費額	211	164	47	-	-	-	211
平成 22 年度比	46.7%	24.9%	97.0%	-	-	-	46.5%
平成 22 年度 10-12 期観光消費額	657	458	199	3	3	-	660

## 第2部 観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

### 1. 調査概要

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 平成25年2月～3月

[調査地点] 下記のとおり、岩手県内の観光地点10ヶ所で実施

[調査内容] 観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目

[調査票回収件数] 808件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 12 アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点	調査実施時期				
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数 (本人含む)
小岩井農場	雫石町	県央地域	2/10	130	668
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	2/9	86	364
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	2/11	102	312
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	2/3	35	200
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	2/16	97	409
宮沢賢治記念館	花巻市	県南地域	2/9	42	165
道の駅くじ「やませ土風館」	久慈市	県北地域	2/2,2/3	75	279
なにやーと物産センター	二戸市	県北地域	2/16,2/17	86	389
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	3/9,3/10	87	329
碁石海岸	大船渡市	沿岸地域	3/2,3/3	68	479
合計				808	3,594

今回実施したアンケート調査結果を集計した結果について、次項以降において説明する。

## 2. 観光客の動向分析

### (1) 問1 住まいの地域

問1は、来訪者の住まいの地域に関する設問である。問1の結果を集計しグラフ化したものが、図11である。

この結果、アンケート調査回答者の6割強(61.6%)は岩手県内からの来訪者であり、岩手県外からの来訪者は約4割弱(38.4%)である。海外からの来訪者は2人(0.6%)であった。

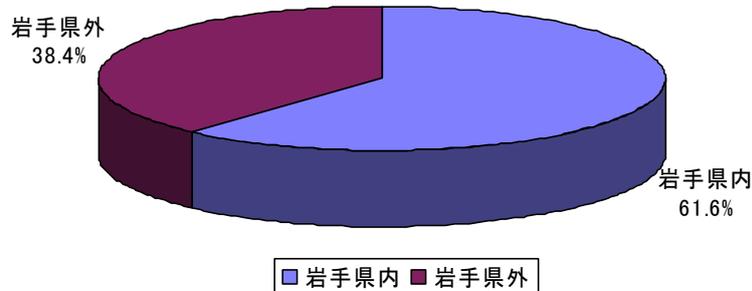


図11 地域別・分類別入込割合(延べ人数から算出)

岩手県外からの来訪者について都道府県別に旅行人数を集計し、グラフ化したものが図12である。県外客で最も人数が多いのは宮城県(29.0%)、次いで青森県(14.8%)、東京都(13.9%)であり、これらの3都県で5割以上(57.7%)を占めている。

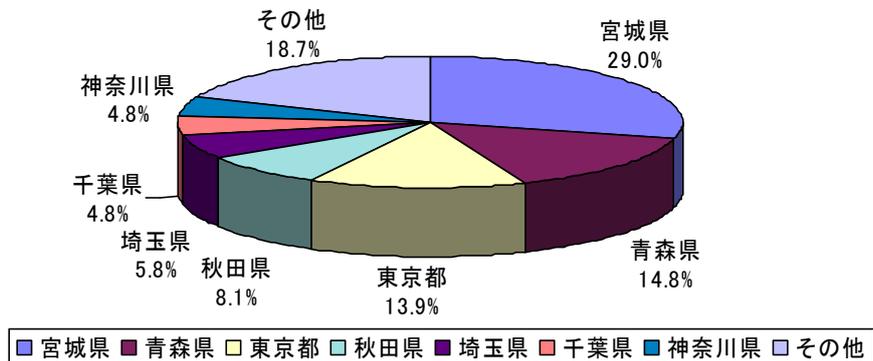


図12 県外客の住まいの地域(岩手県及び来訪者0人の都道府県を除く)

表13 各県当たり観光客数および比率(岩手県及び来訪者0人の県を除く)

宮城県	青森県	東京都	秋田県	埼玉県	千葉県	神奈川県	茨城県
29.0%	14.8%	13.9%	8.1%	5.8%	4.8%	4.8%	2.9%
90人	46人	43人	25人	18人	15人	15人	9人
山形県	福島県	北海道	岐阜県	大阪府	栃木県	静岡県	愛知県
1.9%	1.6%	1.3%	1.3%	1.3%	1.0%	1.0%	1.0%
6人	5人	4人	4人	4人	3人	3人	3人
兵庫県	新潟県	長野県	三重県	海外	石川県	福井県	岡山県
1.0%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.3%	0.3%	0.3%
3人	2人	2人	2人	2人	1人	1人	1人
徳島県	長崎県	宮崎県					
0.3%	0.3%	0.3%					
1人	1人	1人					

## (2) 問2 性別・年代

問2は、来訪者の性別、年代に関する設問である。

性別を集計しグラフ化したのが図13である。この図より、性別の構成をみると男性が半分強を占めている(57.4%)状況であった。

また、年代構成を集計しグラフ化したのが図14である。この図より、合計、岩手県内、岩手県外来訪者とも「60歳代」が最も多いことがわかる。(合計：25.6%、岩手県内：25.7%、岩手県外：25.6%) また、岩手県内、岩手県外来訪者のいずれも、50歳代以上が全来訪者の半数以上となった。(岩手県内：52.0%、岩手県外：56.0%)

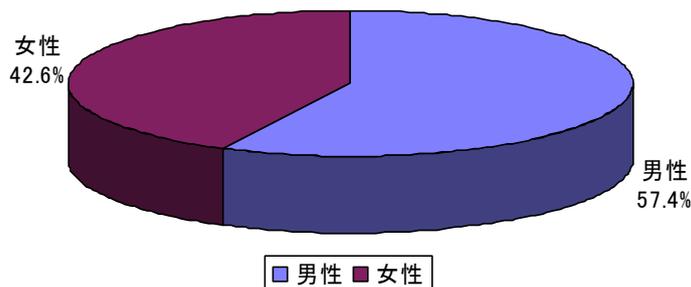


図13 来訪者の性別

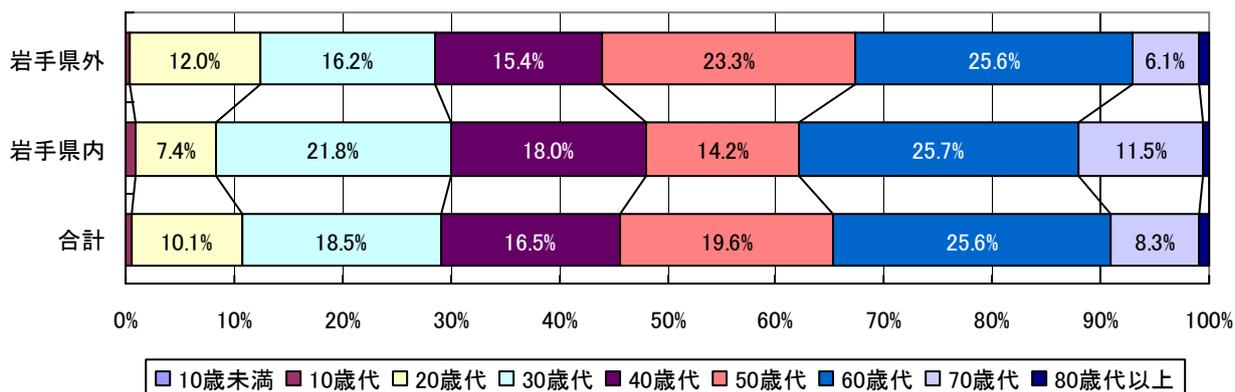


図14 岩手県内／外来訪者の年代構成(比率)

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上
合計	0.0%	0.6%	10.1%	18.5%	16.5%	19.6%	25.6%	8.3%	0.8%
岩手県内	0.0%	0.9%	7.4%	21.8%	18.0%	14.2%	25.7%	11.5%	0.6%
岩手県外	0.0%	0.4%	12.0%	16.2%	15.4%	23.3%	25.6%	6.1%	1.0%

### (3) 問3 宿泊形態および宿泊数

問3は、旅行の日帰り・宿泊の区分、および県内の宿泊に関する設問である。本設問の回答結果を日帰り、宿泊の区分別に集計しグラフ化したのが図15である。

来訪者の宿泊形態は日帰りが2/3近く（65.0%）を占めていた。

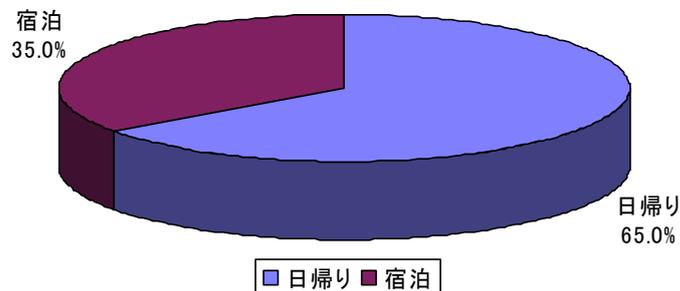


図15 来訪者の宿泊形態

来訪者の全日程及び岩手県内における宿泊日数を集計しグラフ化したのが図16、17である。

宿泊客全体（県外宿泊も含む）の宿泊日数は「1日」が最も多く、全体の半数余り（55.5%）を占めている。なお、岩手県内宿泊数では、宿泊日数「1日」の割合が6割以上であった。（64.2%）

※宿泊数平均 2.1(泊) 県内宿泊数平均 1.3(泊)

また、利用した岩手県内の宿泊施設の種類の数を集計しグラフ化したのが図18である。

この図より、岩手県内の宿泊者のほぼ9割（93.6%）は、宿泊施設の種類の数は「1種類」であった。また3種類以上利用した宿泊客は0%（0件）であった。

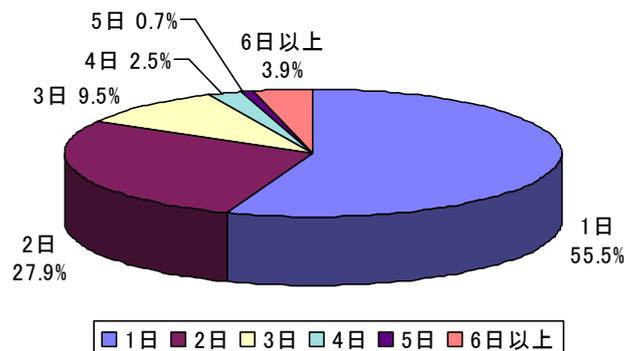


図16 宿泊数（全日程）

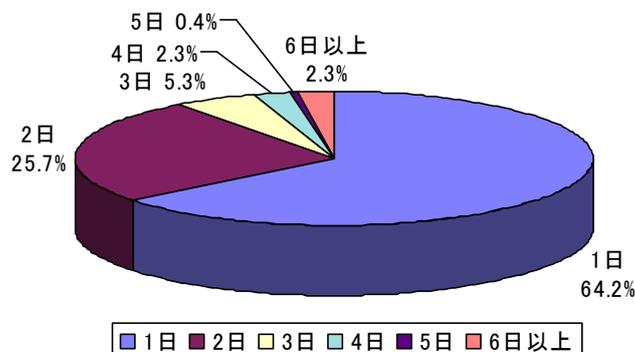


図17 岩手県内宿泊数

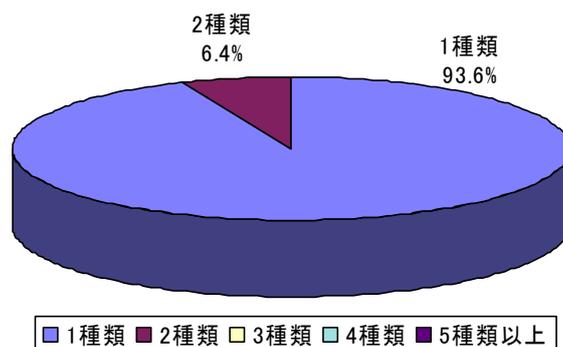


図 18 岩手県内宿泊施設数

利用した県内の宿泊施設の種類を集計しグラフ化したのが図 19 である。県内宿泊者が利用する宿泊施設の種類は「ホテル」(43.7%) が最も多く、次いで「旅館」(22.3%) である。次いで、「実家や知人・親戚宅」(20.6%) であり、これら以外の宿泊施設利用は全て 5%未満であった。

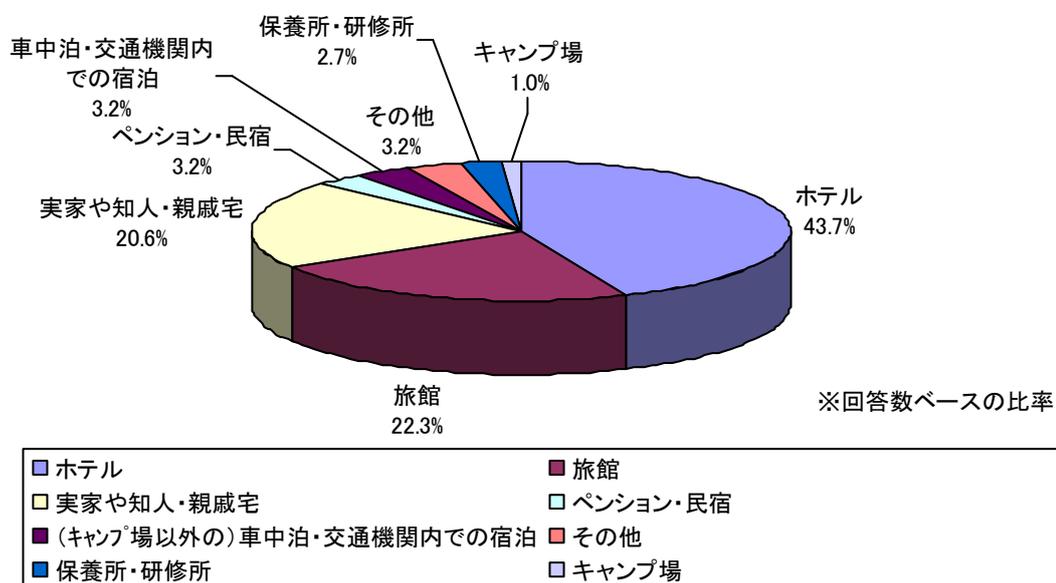


図 19 宿泊施設の種類

表 14 宿泊施設の内訳

施設の種類	割合	人数
実家や知人・親戚宅	20.6%	83 人
旅館	22.3%	90 人
ホテル	43.7%	176 人
ペンション・民宿	3.2%	13 人
保養所・研修所	2.7%	11 人
キャンプ場	1.0%	4 人
(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	3.2%	13 人
別荘・リゾートマンション	0.0%	0 人
会員制の宿泊施設	0.0%	0 人
その他	3.2%	13 人

#### (4) 問4 訪問の目的

問4は、訪問の目的に関する設問である。

本設問の結果を集計しグラフ化したのが図20である。訪問の目的は「観光」が3/4以上を占めており（76.3%）、次いで「帰省・知人訪問」（10.9%）、「ビジネス」（3.0%）である。

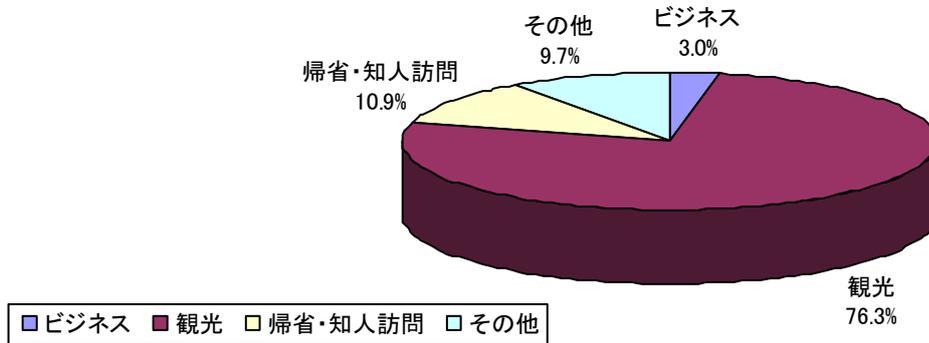


図20 訪問の目的

#### (5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ

問5は、旅行人数および同行者のタイプに関する設問である。

「旅行人数」別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図21である。旅行人数が最も多かったのは「2人」（39.3%）であり、次いで「3人」（17.7%）、「4人」（14.3%）であった。

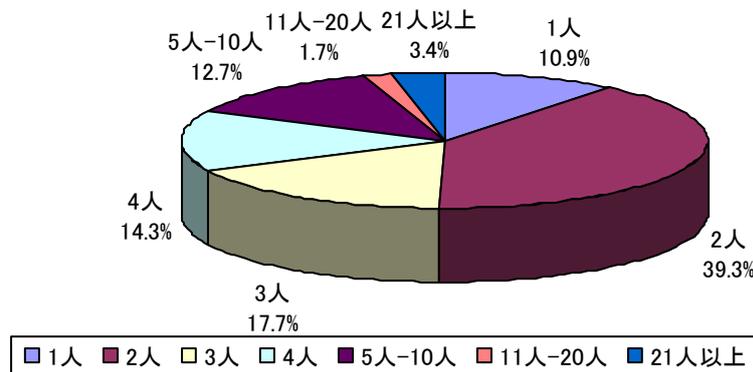


図21 旅行人数

同行者のタイプ別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図22である。同行者のタイプとして最も多いのは「家族」（71.8%）で、回答者全体の約7割を占めた。次いで「友人」（16.1%）、「職場・学校等の団体旅行」（7.5%）などである。

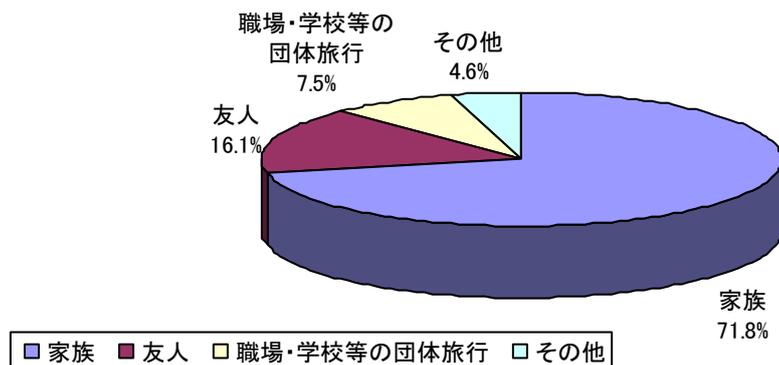


図22 同行者のタイプ

### (6) 問6 観光地訪問の認知、回数

問6、7は、岩手県内観光地への訪問経験の認知及び、県外からの来訪者に対する岩手県訪問の認知及び回数に関する設問で、本設問の結果を集計しグラフ化したのが図23である。

調査地点とした観光地への訪問の認知度については、全来訪者のうち9割以上(94.0%)が「知っている」と回答した。

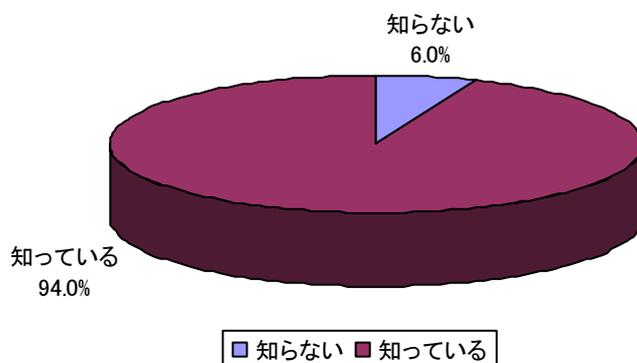


図23 観光地訪問の認知

### (7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)

問7は岩手県外からの来訪者を対象にした、岩手県への訪問の認知及び回数に関する設問で、本設問の結果を集計しグラフ化したのが図24である。

岩手県への訪問の認知を質問したところ、約9割(92.9%)の来訪者が「知っている」と回答した。

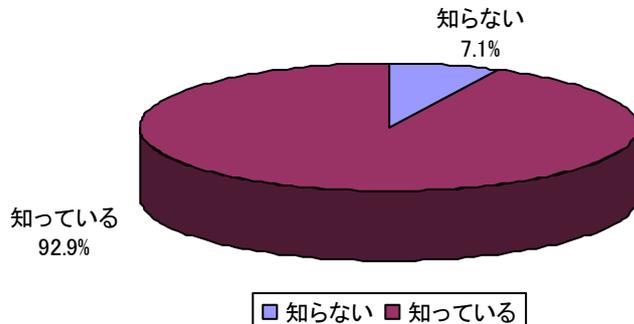


図24 岩手県訪問の認知(岩手県外来訪者)

### (8) 問8 観光地への交通機関

問8は、岩手県への来県や観光地への訪問で利用した交通機関、および訪問やその予定のある岩手県内観光地やその他立ち寄り都道府県に関する設問である。

調査地点である観光地へ来訪する際に利用した交通機関を集計しグラフ化したものが図25である。この図より、最も多く利用されているのが「自家用車、社用・公用車」(71.6%)であり、次いで「JR新幹線」(15.7%)、「貸切バス・観光バス」(2.6%)であった。この上位3位で全体の9割近く(89.9%)を占めている。

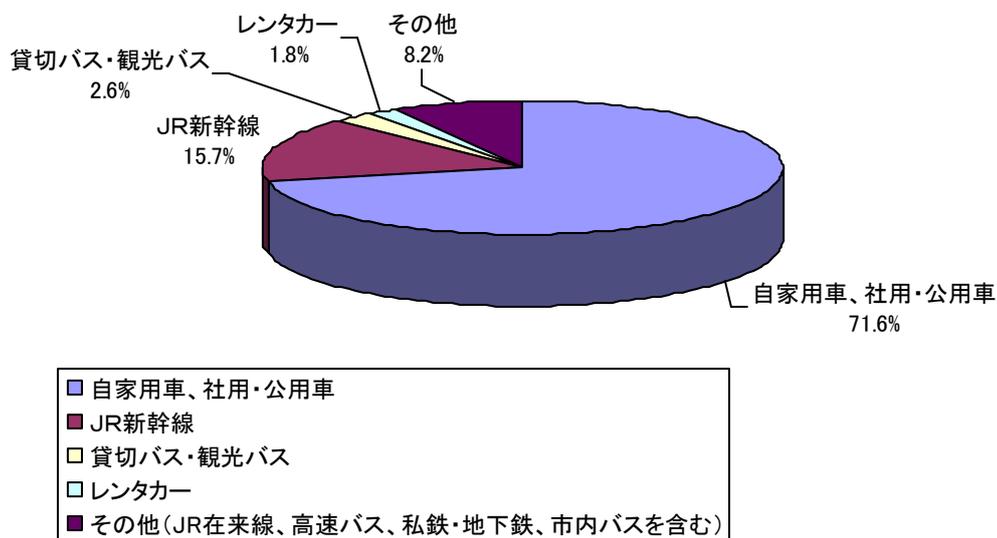


図25 観光地点への交通機関

表15 観光地点への交通機関内訳 (比率)

JR新幹線	JR在来線	私鉄・地下鉄	モノレール
15.7%	0.8%	0.2%	0.0%
貸切バス・観光バス	高速バス	市内バス	市内電車
2.6%	0.6%	0.1%	0.0%
タクシー・ハイヤー	レンタカー	自家用車、社用・公用車	その他
0.0%	1.8%	71.6%	6.4%

### (9) 問9 今回の旅行費用について

問9は、今回の旅行費用に関する設問である。

1人当たりの岩手県内における交通費を集計しグラフ化したものが図26、27であり、岩手県外に置ける交通費を集計したグラフが図28、29である。

岩手県内の交通費においては、来訪者全体の約6割(59.6%)が「2,000円未満」となっているが、県内の来訪者がこの価格帯の8割近く(79.4%)を占めているのに対し、県外の来訪者は約半数(45.4%)にとどまり、残りの半数以上(54.6%)は2,000円以上を支出している。

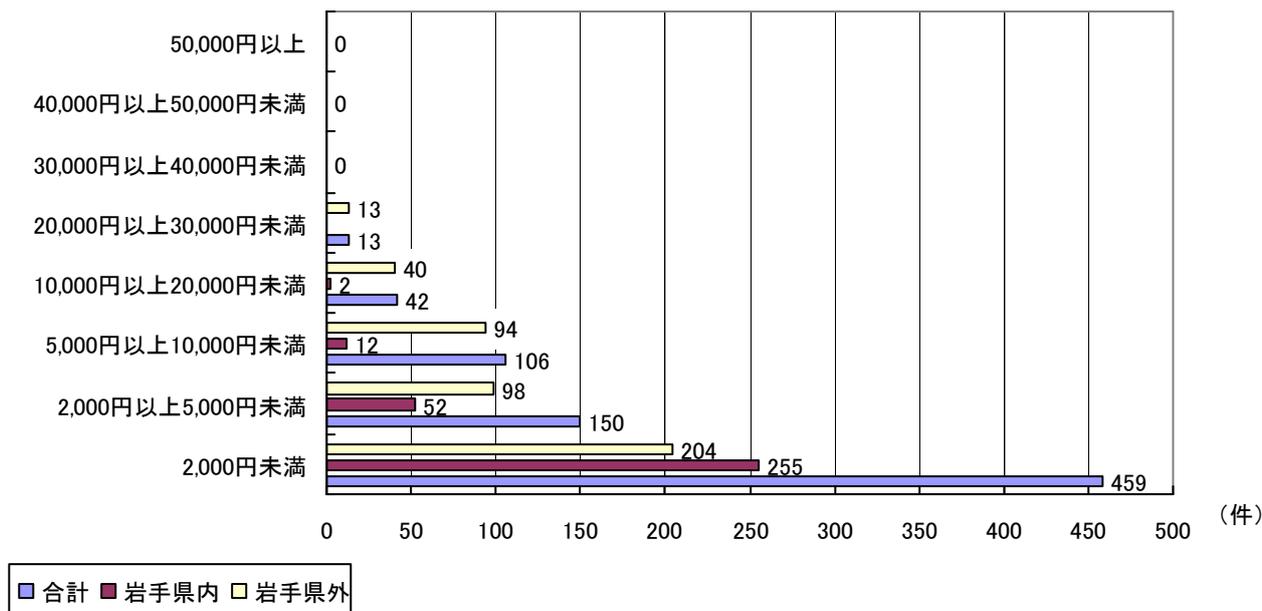
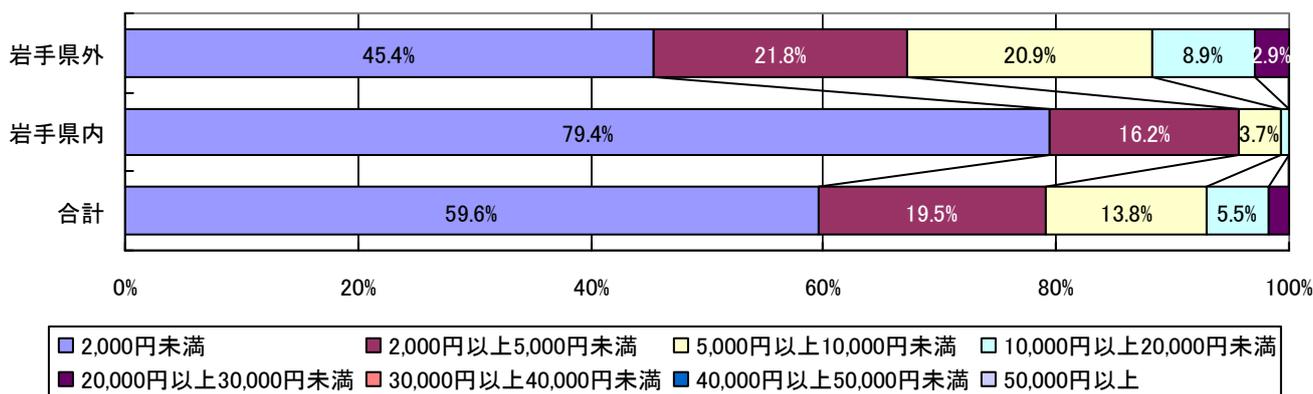


図26 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・件数）



	2,000円未満	2,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 30,000円未満	30,000円以上 40,000円未満	40,000円以上 50,000円未満	50,000円以上
合計	59.6%	19.5%	13.8%	5.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県内	79.4%	16.2%	3.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	45.4%	21.8%	20.9%	8.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%

図27 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・比率）

岩手県外の交通費においては、来訪者全体の半数強（53.5%）が「1,000円未満」となっている。その内訳をみると、県内の来訪者が9割以上（97.9%）あるものの、県外の来訪者は2割程度（22.9%）にとどまっている。県内の来訪者の多くが岩手県内のみの旅程であることが伺える。

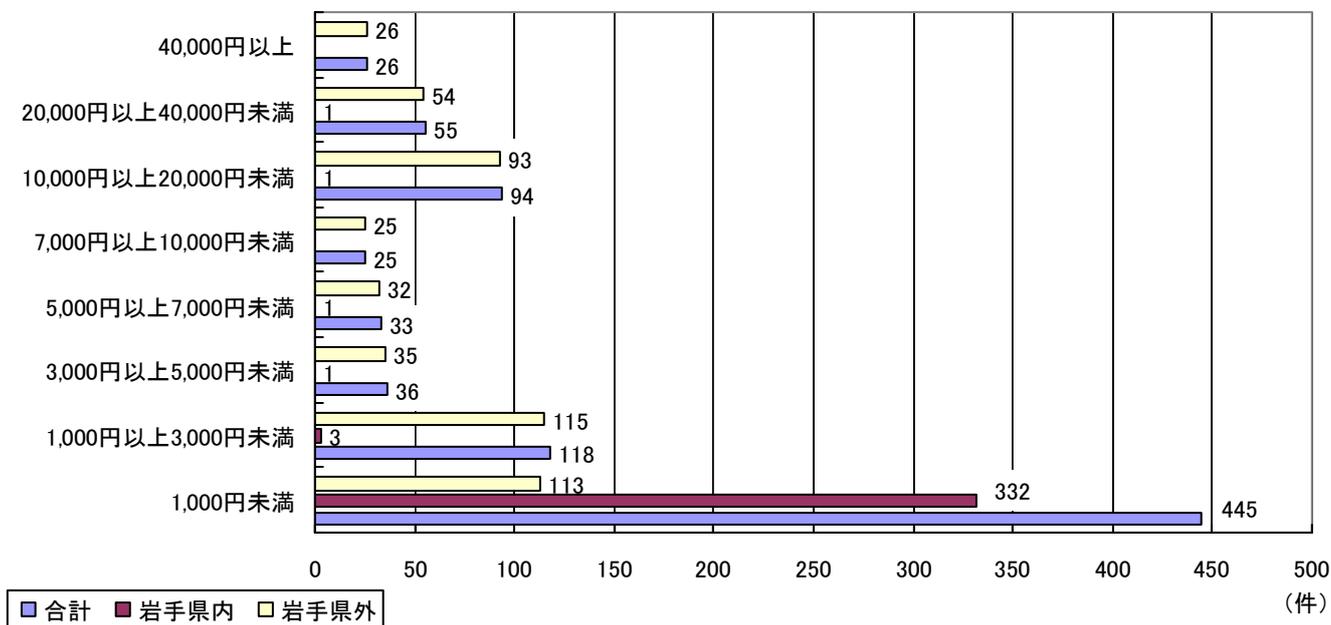
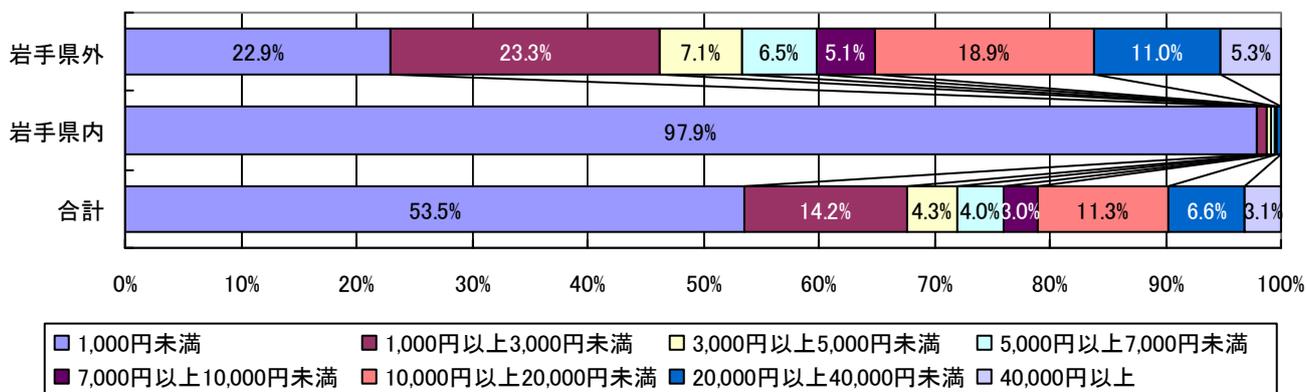


図28 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	53.5%	14.2%	4.3%	4.0%	3.0%	11.3%	6.6%	3.1%
岩手県内	97.9%	0.9%	0.3%	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%
岩手県外	22.9%	23.3%	7.1%	6.5%	5.1%	18.9%	11.0%	5.3%

図29 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・比率）

本設問より、1人当たりの岩手県内における宿泊費を集計しグラフ化したものが図30、31である。宿泊費を県内・県外の来訪者別に比較すると、双方とも「1,000円未満」が最も多い。これは全来訪者のうち日帰りの割合が2/3近く（65.0%）を占めていることに所以する。

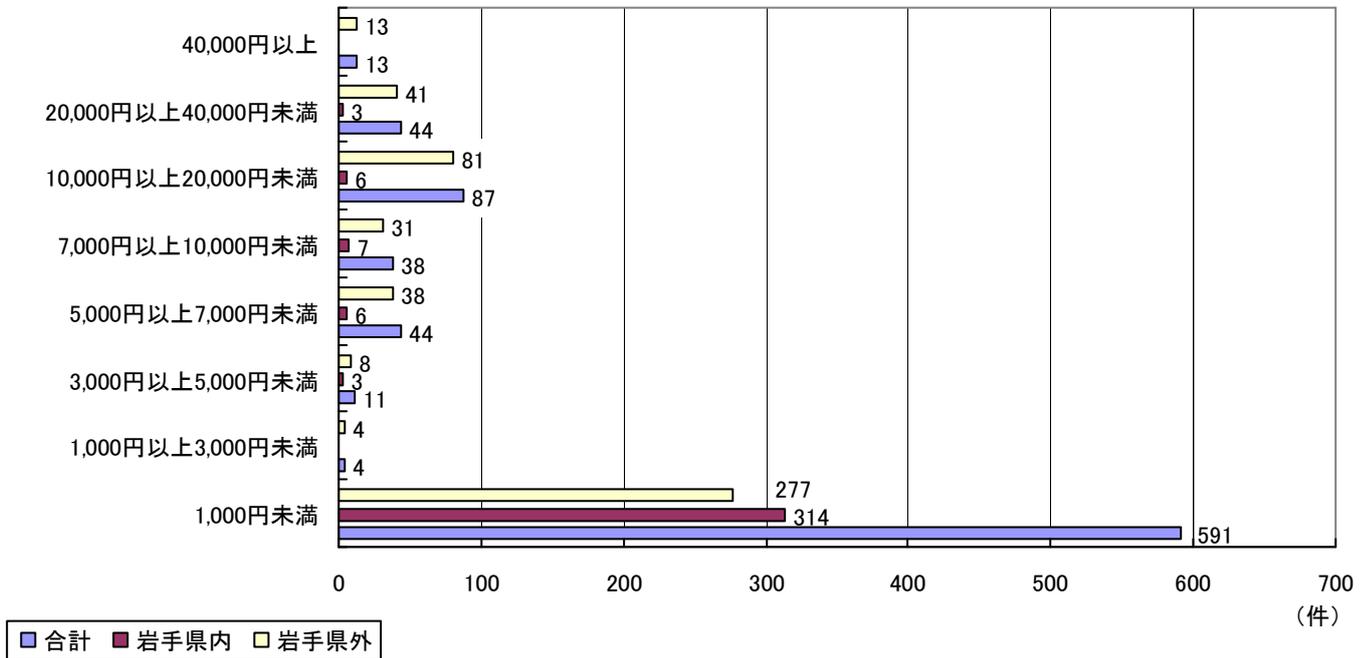
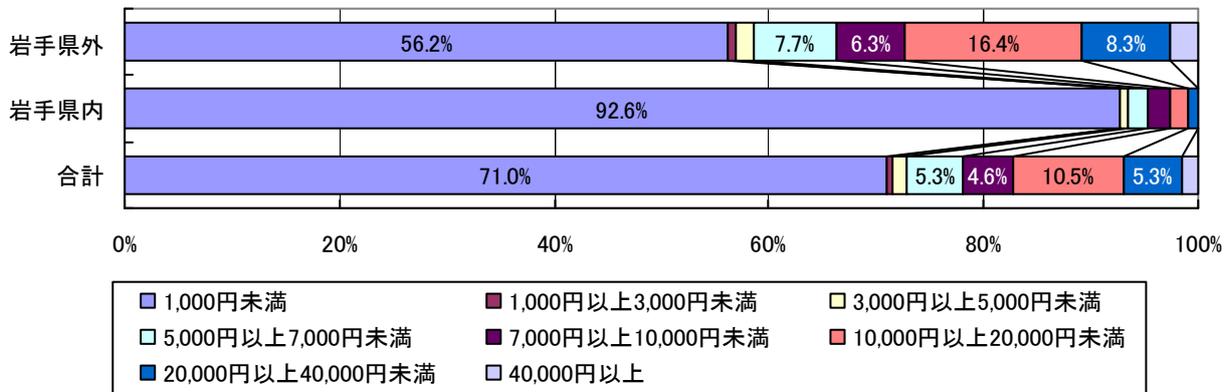


図30 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	71.0%	0.5%	1.3%	5.3%	4.6%	10.5%	5.3%	1.6%
岩手県内	92.6%	0.0%	0.9%	1.8%	2.1%	1.8%	0.9%	0.0%
岩手県外	56.2%	0.8%	1.6%	7.7%	6.3%	16.4%	8.3%	2.6%

図31 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・比率）

図30、図31で用いたデータより、日帰り来訪者及びパッキングツアー利用者除外して再集計シグラフ化したものが、図30-1、図31-1である。

件数では「1,000円未満」と「5,000円以上（～40,000円以上の5項目）」に2つのピークがあり、前者が約4割、後者が約6割であった。前者に関しては、宿泊施設の選択肢「実家や知人・親戚宅利用」の約2割（20.6%）が影響しているものと思われる。また、県内・県外の来訪者別での宿泊件数では、県外来訪者が県内来訪者の8倍以上であった（県内来訪者：41件、県外来訪者：340件）。

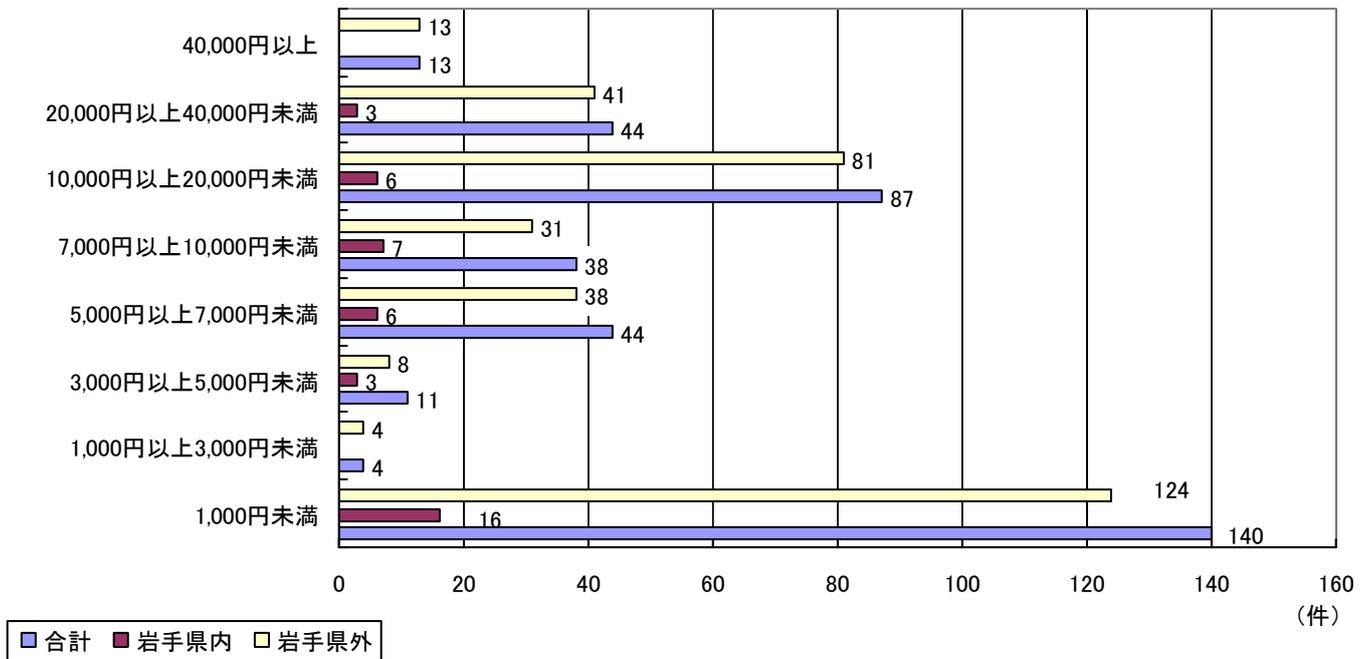
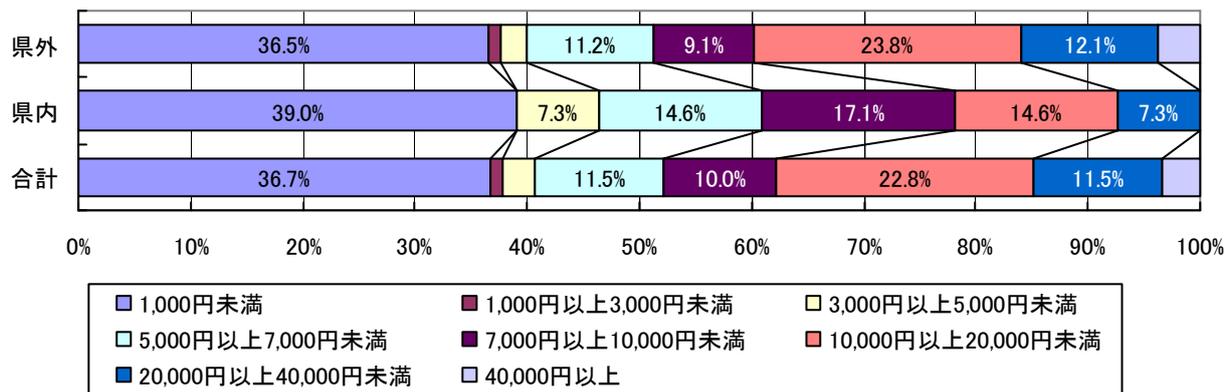


図30-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・件数 パッキングツアー利用者を除く宿泊者のみ)



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	36.7%	1.0%	2.9%	11.5%	10.0%	22.8%	11.5%	3.4%
岩手県内	39.0%	0.0%	7.3%	14.6%	17.1%	14.6%	7.3%	0.0%
岩手県外	36.5%	1.2%	2.4%	11.2%	9.1%	23.8%	12.1%	3.8%

図31-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・比率 パッキングツアー利用者を除く宿泊者のみ)

本設問より、1人当たりの土産代を集計しグラフ化したのが図32、33である。

この図より、1人当たりの土産代は、合計では「1,000円以上 3,000円未満」が38.7%と最も多く、3,000円未満の内訳をみると、県内の来訪者は約9割（89.4%）となり、県外の場合は約半数（53.5%）にとどまっている。3,000円以上の価格帯を土産代で支出しているのは、その多くが岩手県外来訪者であった（県内来訪者：10.6%、県外来訪者：46.5%）。

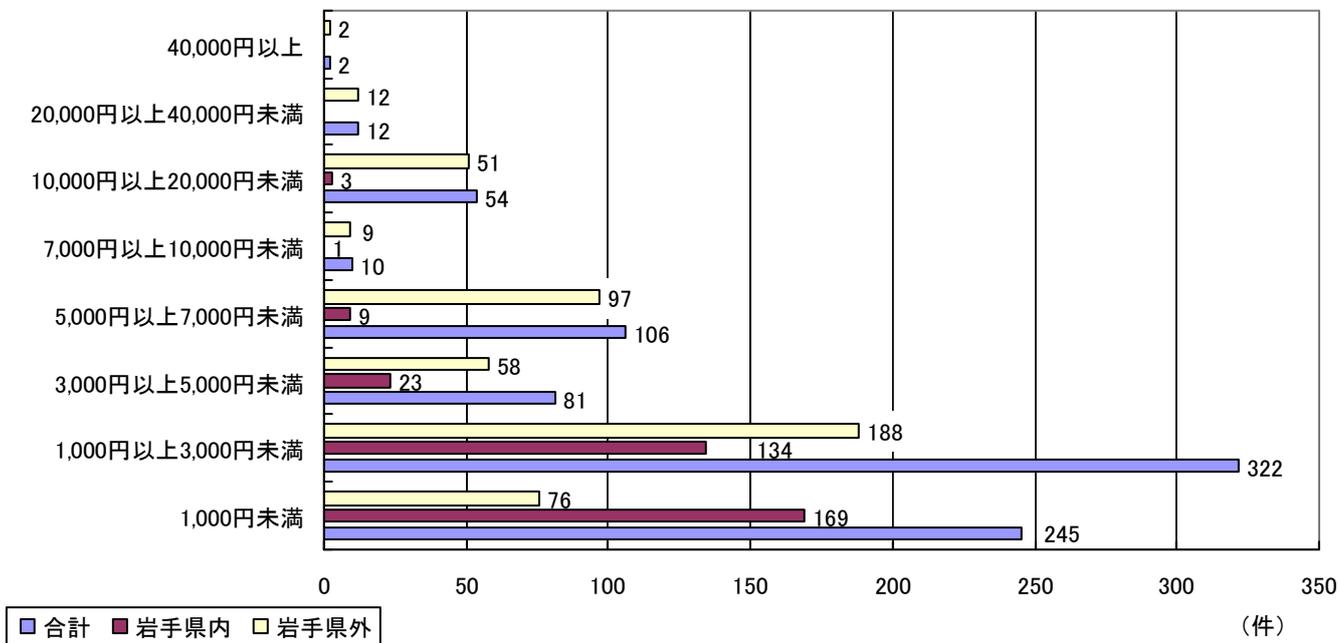
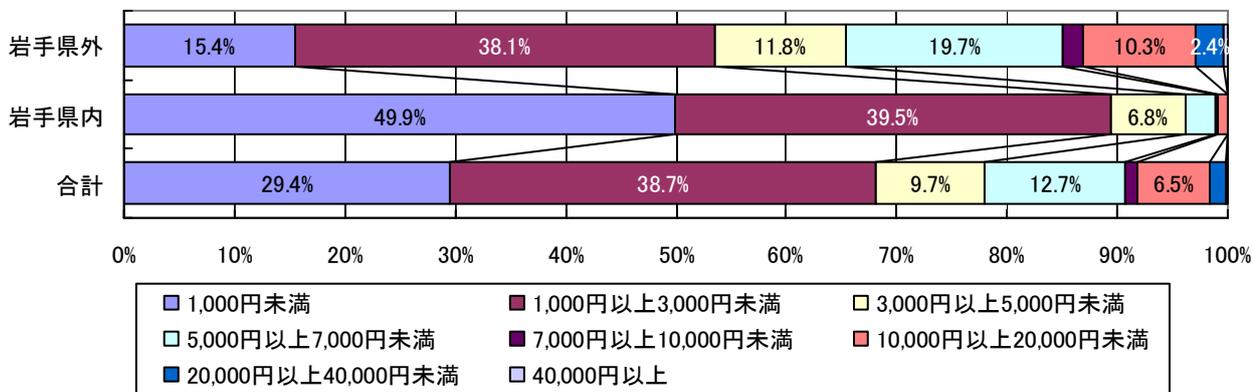


図32 岩手県内／外旅行費用の比較（土産代・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	29.4%	38.7%	9.7%	12.7%	1.2%	6.5%	1.4%	0.2%
岩手県内	49.9%	39.5%	6.8%	2.7%	0.3%	0.9%	0.0%	0.0%
岩手県外	15.4%	38.1%	11.8%	19.7%	1.8%	10.3%	2.4%	0.4%

図33 岩手県内／外旅行費用の比較（土産代・比率）

本設問より、1人当たりの飲食費をグラフ化したものが図34、35である。

この図より1人当たりの飲食費は、合計では「1,000円以上 3,000円未満」が49.3%と最も多い。県内・県外の来訪者別で見ると、県内の来訪者では「5,000円以上 7,000円未満」がほぼ支出の上限であり、7,000円以上の価格帯では、県外の子訪者の支出が大半であった（県内来訪者：2件、県外来訪者：81件）。

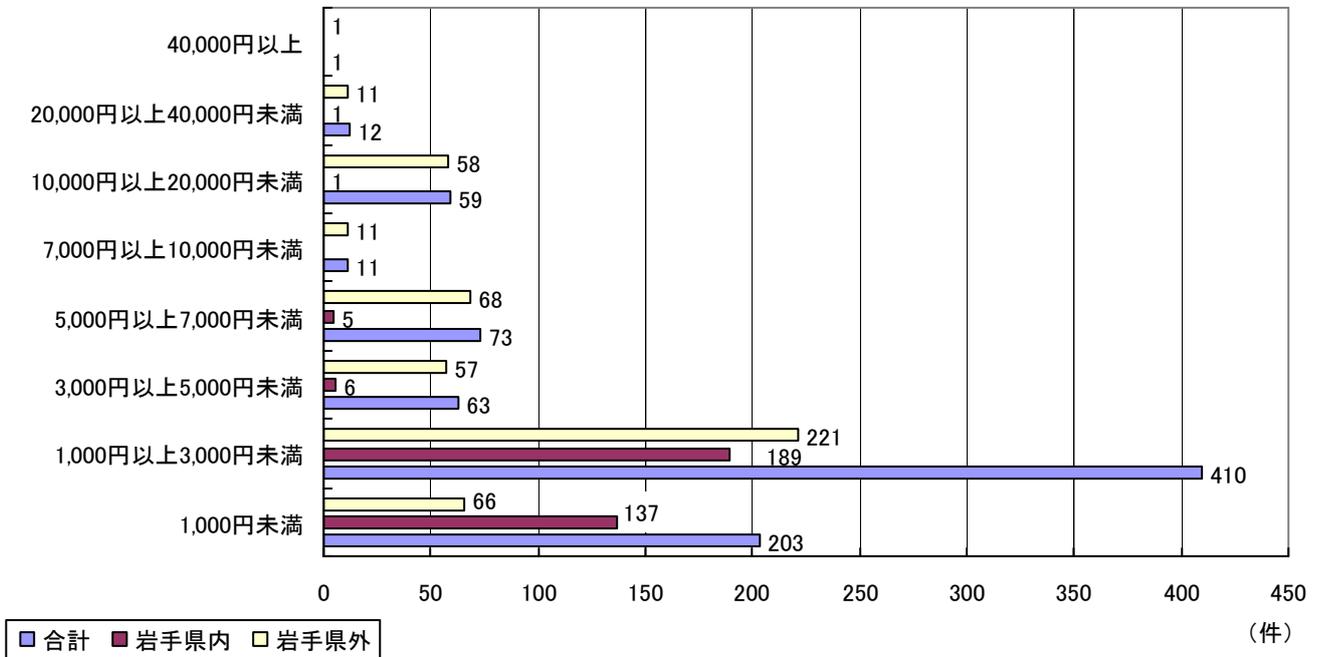
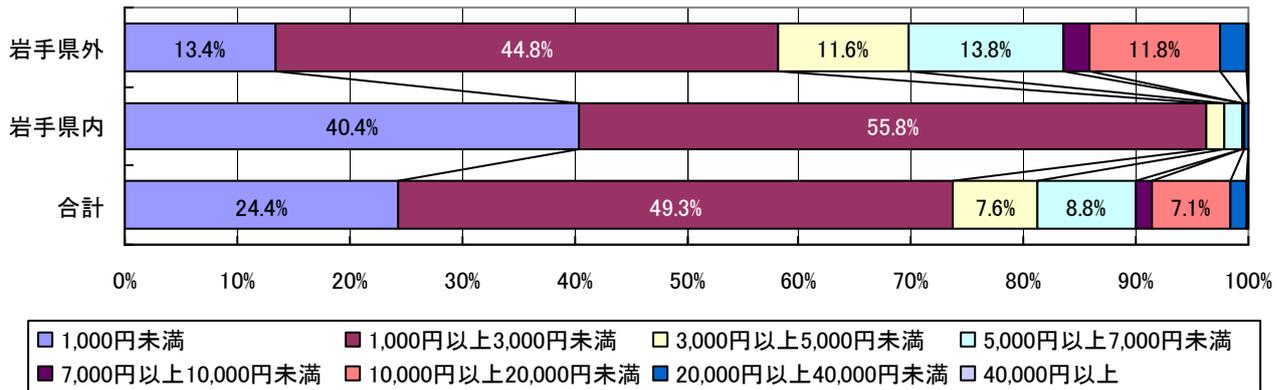


図34 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	24.4%	49.3%	7.6%	8.8%	1.3%	7.1%	1.4%	0.1%
岩手県内	40.4%	55.8%	1.8%	1.5%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%
岩手県外	13.4%	44.8%	11.6%	13.8%	2.2%	11.8%	2.2%	0.2%

図35 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・比率）

本設問の結果、1人当たりの入場料を集計しグラフ化したのが図36、37である。

この図より、1人当たりの入場料は、県内・県外とも「1,000円未満」が最も多く、県内・県外の来訪者ともに、3,000円未満の価格帯までで9割以上を占めている（県内来訪者：100.0%、県外来訪者：96.5%）。

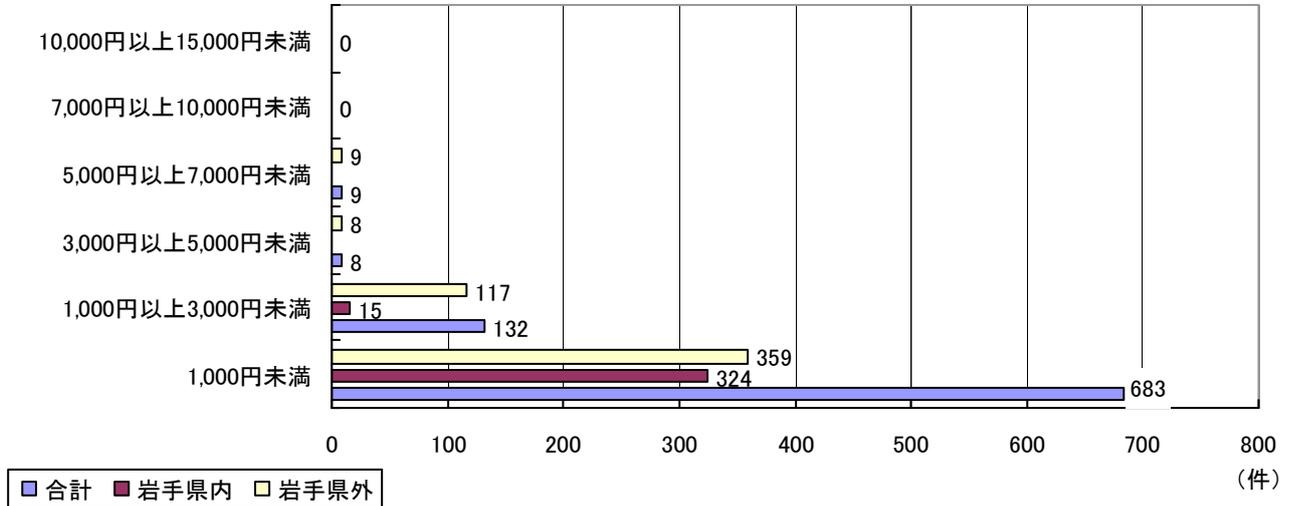
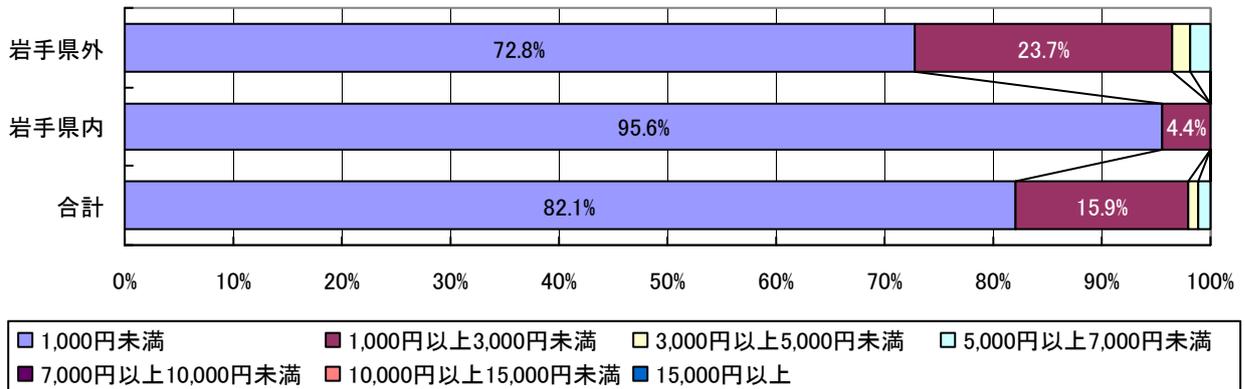


図36 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上
合計	82.1%	15.9%	1.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県内	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	72.8%	23.7%	1.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

図37 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・比率）

本設問の結果、1人当たりのその他費用を集計しグラフ化したのが図38、39である。  
この図より、1人当たりその他費用は、合計では「1,000円未満」が98.2%と、9割以上を占めている。

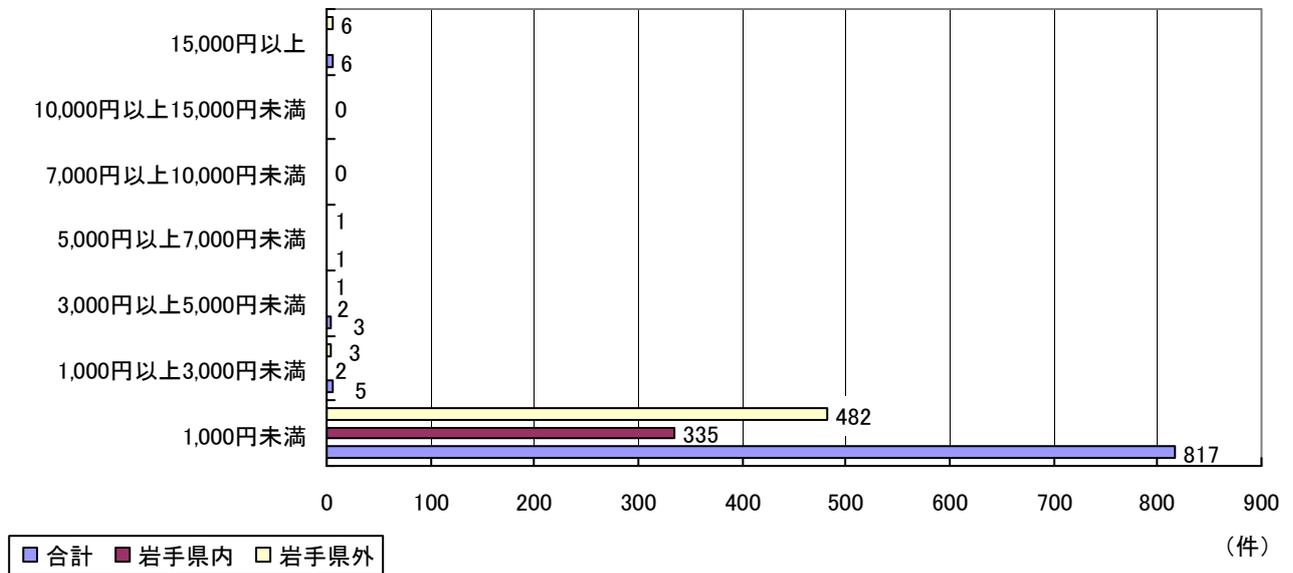
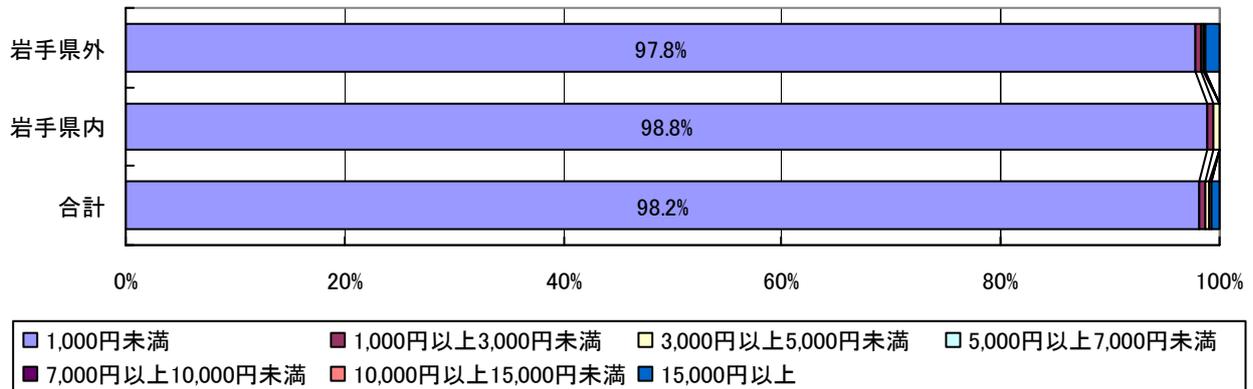


図38 岩手県内/外旅行費用の比較 (その他費用・件数)



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上
合計	98.2%	0.6%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.7%
岩手県内	98.8%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	97.8%	0.6%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	1.2%

図39 岩手県内/外旅行費用の比較 (その他費用・比率)

本設問の結果、1人当たりのパック料金を集計しグラフ化したのが図40、41である。  
 この図より、1人当たりのパック料金は、県内・県外の来訪者とも「1,000円未満」が9割以上（93.4%）であるが、これはパックツアーを利用しなかった来訪者が多いことに所因する。

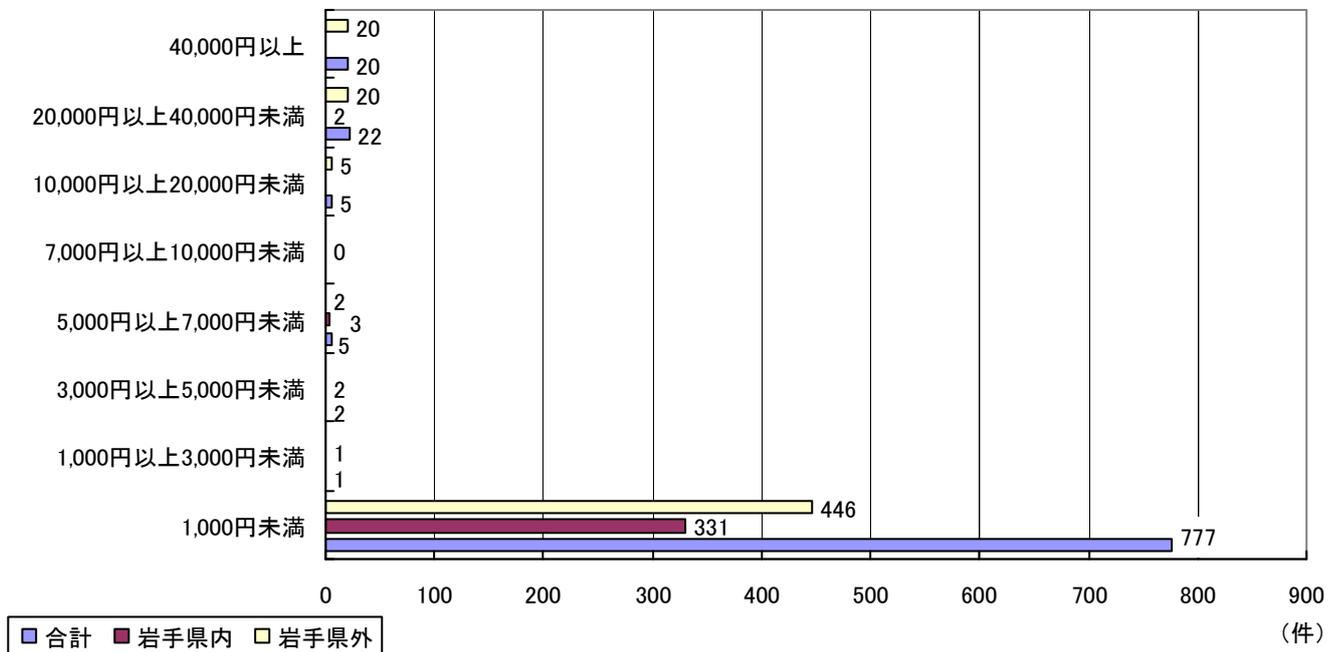
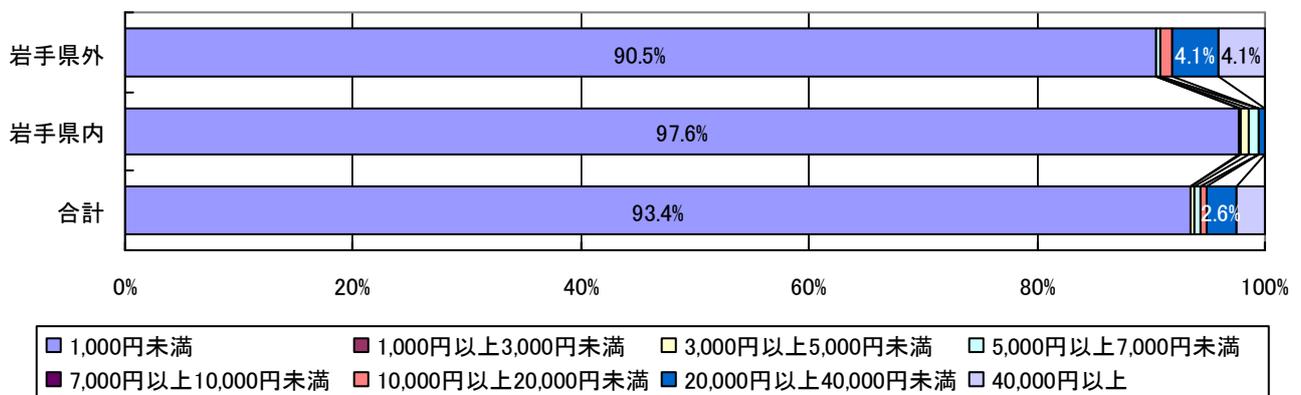


図40 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	93.4%	0.1%	0.2%	0.6%	0.0%	0.6%	2.6%	2.4%
岩手県内	97.6%	0.3%	0.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
岩手県外	90.5%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	1.0%	4.1%	4.1%

図41 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率）

図40、図41で用いたデータより、パックツアーを利用した来訪者のみに対して再集計しグラフ化したものが、図40-1、図41-1である。

比率を見ると、県内の来訪者では 7,000円未満が7割以上（75.0%）であるが、県外来訪者では 10,000円以上が9割を超えている（95.8%）。また、パックツアー利用者合計件数においては、県外来訪者が県内の来訪者の5倍以上であった（県内来訪者：8件、県外来訪者：47件）。

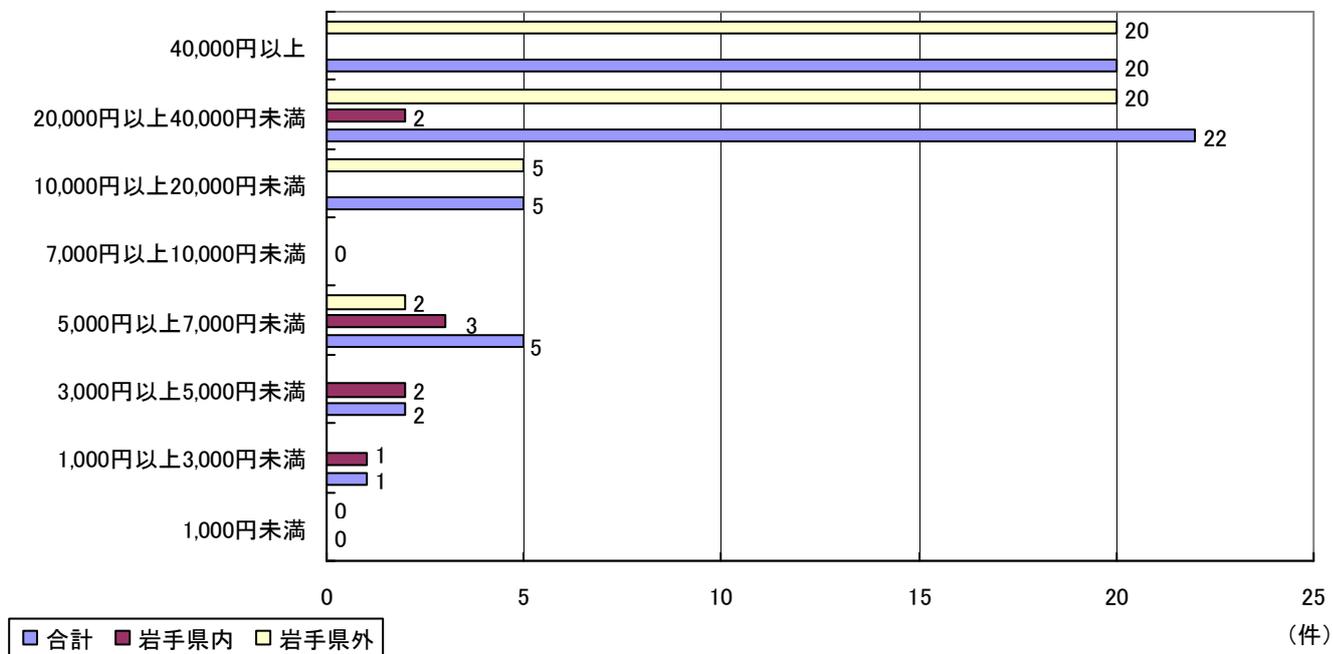
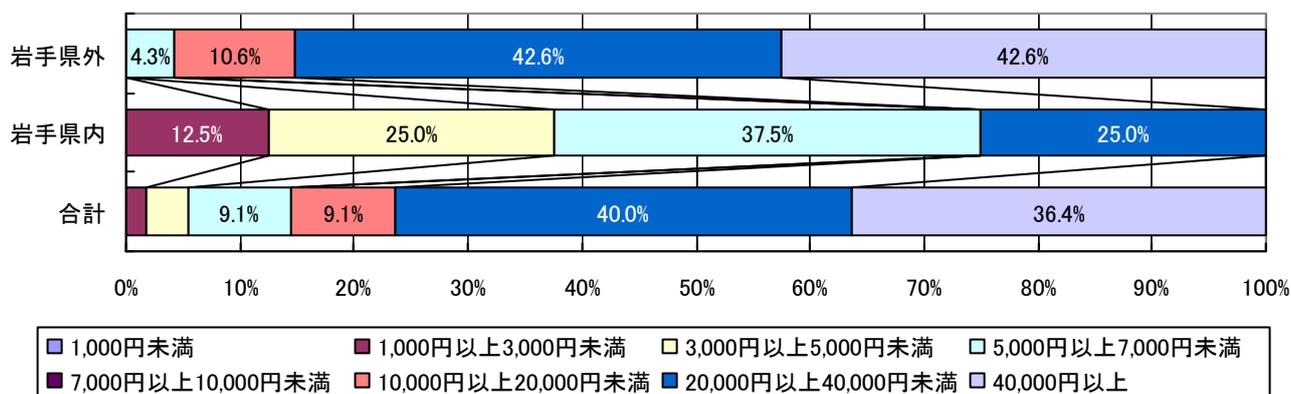


図40-1 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数 パックツアー利用者のみ）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	0.0%	1.8%	3.6%	9.1%	0.0%	9.1%	40.0%	36.4%
岩手県内	0.0%	12.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
岩手県外	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	10.6%	42.6%	42.6%

図41-1 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率 パックツアー利用者のみ）